

第7章 歴史文化遺産の一体的・総合的な保存と活用

1. 関連文化財群

(1) 関連文化財群とは

関連文化財群とは、地域の多種多様な文化財を歴史文化の特性に基づいて一定のまとまりとして捉えたものである。まとまりをもって扱うことで、未指定文化財についても構成要素としての価値付けが可能となる（注）。相互に結びついた歴史文化遺産は、多面的な価値と魅力を発見することができる。

（注）「文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画作成等に関する指針」（最終変更令和5年3月、文化庁）を参照による。

(2) 関連文化財群の設定と考え方

第3章でまとめたうるま市の歴史文化の特徴は、①海の邦としての活躍するまち、②グスクと村落の形成のまち、③歌と芸能を生み出すまち、④戦後復興発祥のまちの4つである。これら4つの歴史文化の特徴を関連文化財群として捉えた。

(3) 関連文化財群とその課題・方針・取組

①海の邦としての活躍するまち

うるま市は、金武湾及び中城湾の沿岸部、天願川流域、島しょ地域を中心に約1万年前から2,000年前の縄文～弥生時代の遺跡が集中し、古くから沖縄本島東海岸の利点をいかした文化交流が盛んな地域であった。とくにジュゴン漁の痕跡を示す骨製品や貝製品、干潟とサンゴ礁の豊かさを感じられる。漁に欠かせない網の製造は先史時代にも確認ができ、その漁法は『おもろさうし』などで歌われている。地域住民は現在においても遺跡から出土する魚介類と変わらない食文化をもち、沖縄の貝塚文化の形成に欠かせない海洋文化の交流と長期に渡る暮らしの営みが続いている。

また、中世は勝連城跡を中心に海外貿易との隆興がみられ、近世においても本市が様々な物資の海上交通の要となった。とくに近世の本市は近海で獲れた天然の海産物等を琉球王府へ納める地域として知られていた。18世紀中頃より伝承される市指定の無形の民俗文化財のマーラン船建造技術は、琉球における木造船の技術革新となり、海上交通の利便性を発展させた。近代にかけて沖縄本島の北と南を結ぶ海上交通は、マーラン船によって県内各地へ共同売店を生み出した。

近年は海の環境を活かした製塩業やモズク養殖業も目覚ましい。

<構成文化財>

No.	構成文化財	地域	区分	指定等	概要
1	伊波貝塚	石川	遺跡	国	約 3,500～3,000 年前の当時の暮らしを知れる貝塚が保存されている。
2	仲原遺跡	与那城	遺跡	国	約 2,500 年前の竪穴住居跡を復元している。調査では奄美諸島産の石器やサメの歯の製品等が発見され、当時の人々と海の関わりが知れる。
3	平安名貝塚	勝連	遺跡	県	海から離れた平安名集落だが、約 3,500～3,000 年前の人々と海の関わりが知れる。
4	藪地洞穴遺跡	与那城	遺跡	市	約 6,500 年前の爪形文土器や貝殻の矢じり等が見つかった。さらに市内で最も古い人骨が発見され、どのように海と関わってきたかを知ることができる。
5	古我地原貝塚 出土品	沖縄県	有形 (考古)	県	約 4,000 年前の竪穴住居跡や炉跡、土器やジュゴンの骨やサメの歯製品等が出土した。その海との関わりが深い出土品は当時の人々の物質・精神文化の豊かさを知ることができる。
6	地荒原貝塚 出土品	具志川	有形 (考古)	未	約 4,000～2,500 年前の貝塚。多様な貝製品(貝札、竜と思われる獣形垂飾品等) やジュゴンの骨製品も出土した。
7	地荒原遺跡 出土品	具志川	有形 (考古)	未	約 4,000～2,500 年前の貝塚。魚介類やジュゴンの骨等が発見され、奄美諸島との交流があった。
8	宇堅貝塚 出土品	具志川	有形 (考古)	未	約 2,000 年前の貝塚は弥生式土器が多く発見され、板状の鉄斧や銅製の鏡片、漢式三角鎌、ガラス製の小玉、貝の腕輪、イモガイの指輪等も出土した。九州の弥生文化との交流があった。
9	アカジャンガー貝塚	具志川	遺跡	未	1,500 年前の遺跡。竪穴の遺構や鹿の角、サメの歯、貝製品等が発見され、伊江島や南九州との交流があった。
10	平敷屋 トウバル遺跡	勝連	遺跡	未	中城湾に面した約 4,000～3,000 年前の遺跡。グスク時代の複合遺跡もあり、竪穴式住居跡や大型巻貝の集積の遺構、貝さじ、ジュゴンの骨製品等が発見され、海に依存した暮らしがわかる。
11	平敷屋 トウバル遺跡	勝連	有形 (考古)	未	約 3,500 年前の線刻石板を発見した。それは海に関わる縄文時代の社会的・宗教的側面を知ろう

	(線刻石板)				えて貴重な資料となっている。
12	津堅キガ浜 貝塚	勝連	遺跡	未	約 4,000～1,000 年の貝塚。その人々はサメの 歯に似せて加工した貝製品や「蝶形骨器」「竜形 骨器」を重宝していた。
13	津堅貝塚	勝連	遺跡	未	約 2,000～1,000 年前の貝塚。人々が残したア ンボンクロザメの貝集積、貝輪や貝さじ等の貝製 品、ジュゴンやウミガメ等の骨が見つかった。
14	浜貝塚	勝連	遺跡	未	浜集落の南側半分から南の山に広く分布する 約 2,000～1,000 年前の貝塚である。出土物は人 骨、土器、石器、貝製品、魚介類が発見された。
15	伊計貝塚	与那城	遺跡	未	約 3,500～3,000 年前の貝塚。奄美諸島との交 流が土器等でわかった。
16	シヌグ堂遺跡	与那城	遺跡	未	約 2,500 年前の沖縄県最大の集落跡の遺跡。そ の人々が使ったサメの歯やジュゴンの骨製品等 は海に依存する暮らしがわかった。
17	高嶺遺跡	与那城	遺跡	未	シヌグ堂遺跡と同じ時代の遺跡である。出土し たマダライモガイの貝製品は現代のシヌジ漁の 漁具と似ている。
18	宮城島のヒー タチ（火立 て）跡	与那城	遺跡	市	近世琉球に設置されたヒータチ跡は、海上交通 の歴史を知るうえで貴重である。
19	ヒータティム イ（火立森）	勝連	遺跡	未	勝連平敷屋土地改良区の西側にある。17 世紀 の琉球は海上交通が活発化し、その情報伝達を知 ることができる。
20	喜屋武グスク の火立て跡	具志川	遺跡	未	グスク内には火立ての場所があったと言われ、 別名「火打ち城」とも呼ばれている。
21	旧津堅島 灯台跡	勝連	遺跡	未	沖縄県で初めて完成した灯台。日本と台湾との 航路やその他の海上交通の安全を守り活躍した。
22	平安座東 ハンタ原遺跡	与那城	遺跡	未	約 2,500 年前の遺跡であり、土器や石器、貝製 品、ジュゴンの骨製品も発見された。
23	干潟漁法用具	与那城	有形 民俗	未	網やエビ獲り用道具、イカ用の疑似餌、タコ獲 り用の疑似餌等は、平安座島と浜比嘉島、屋慶名 集落らしい貴重な民具である。
24	シヌジ漁	与那城	無形 民俗	未	シヌジグラー（ウデナガカクレダコ）を獲りは、 マダライモガイ等が疑似餌である。その漁は平安 座島の風物詩となっている。

25	製塩生産用具	与那城	有形 民俗	未	現在の子どもたちは、宮城島の桃原集落等で製塩業があったと知らない。その地域らしい産業は、屋敷の小屋に残されている。
26	モズク養殖	与那城 勝連	文化 的 景観	未	本市は海の自然環境を活かしたモズク養殖の産業が日本一だ。Google Map でもみると、その範囲は驚異である。津堅島と浜比嘉島の港と集落は文化を味わせる景観を残している。
27	勝連のもずくてんぷら	与那城 勝連	無形 民俗	未	本市でモズク養殖が盛んになり、ひとつの食品を生み出した。それが文化庁の令和4年度100年フードに認定された「勝連のもずくてんぷら」である。
28	魚介類 郷土料理	与那城 勝連	無形 民俗	未	地域のイカスミ汁やンヌジグワの味噌和え、ニガナの豆腐和え、アバサー汁、魚のマースニー（塩煮）等は、とても貴重な海鮮料理である。
29	平安座のサングワチャー	与那城	無形 民俗	市	旧暦3月3日は夏の海（干潟）が始まる季節であり、平安座島のニライカナイの神々を迎える祭礼は海の風物詩となっている。
30	平安座島のナンザ	与那城	名勝 地	未	平安座島の男たちはニライカナイの神々に扮する前、サングワチャーの2日目に小島を訪れ、タコを供え、豊漁を祈願する。
31	浜のサングワチャー	勝連	無形 民俗	未	平安座島の行事とは一味が違う祭礼を行う。それは集落の男たちが竿につるしたタマン（魚）を担ぎ、竜宮神の周囲をまわりながら歌う。
32	浜の竜宮神	勝連	有形 民俗	未	サングワチャーの祭礼の場であるほか、クジラやジュゴン、魚などを解体する場所であった。
33	津堅の竜宮神	勝連	有形 民俗	未	漁場と網を使う仲間と共に大漁と新生児の健康をアミルシグワの時に祈願する場となっている。
34	比嘉のサングワチャー	勝連	無形 民俗	未	祭礼の場所となるヒラシマの岩の割れ目を通り、ニライカナイの神々に海の豊漁を祈願する。海の信仰を考えるうえで貴重な行事である。
35	比嘉のヒラシマ	勝連	遺跡	未	比嘉集落のサングワチャーの時にニライカナイの神々へ海の豊漁を祈願する場所。
36	平安座の魚垣	与那城	遺跡	未	平安座島と浜比嘉島を結ぶ浜比嘉島大橋の西側にある。現在は石垣の礎石が残されている。今後は漁業協同組合との連携が期待できる。

37	マーラン船の 建造技術	与那城	無形 民俗	市	4代に渡る越來家船大工は、琉球の多種多様な木造船の技を今も伝え、沖縄らしい海の文化を持続させている。
38	サバニの造船 技術	与那城	無形 民俗	未	沖縄の海の伝統行事を代表とするハーリー。4代に渡る越來家船大工の技は、祭礼の持続に不可欠である。
39	越來文治氏・ 宇保賢章氏の 造船用具	与那城 勝連	有形 民俗	未	越來家2代目の越來文治氏と名工の宇保賢章氏の造船用具は、多種多様な木造船を生産し続け、昭和の海上交通を支えた貴重な資料である。
40	越來文治氏 作・サバニ	与那城	有形 民俗	未	2代目が手掛けた標本は展示だけでなく、船大工の教材としても活かされている。
41	越來文治氏 作・琉球伝馬 船	与那城	有形 民俗	未	2代目が手掛けた標本は展示だけでなく、船大工の教材としても活かされている。
42	越來治喜氏 作・マーラン 船	与那城	有形 民俗	未	2014（平成26）年に建造された。戦後以来、初めて帆船を建造した。その標本は展示だけでなく、海上に浮かべ体験学習等に活用されている。
43	越來治喜氏 作・琉球伝馬 船	与那城	有形 民俗	未	2015（平成27）年に建造された。その標本は展示だけでなく、海上に浮かべ体験学習等に活用されている。
44	越來治喜氏 作・サバニ	与那城	有形 民俗	未	2004（平成16）年に建造された。平安座自治会が所有し、今でも平安座ハーリー大会で使われ、海の行事の風物詩となっている。
45	石川の ハーリー	石川	無形 民俗	未	石川地区唯一の船漕ぎ競争は、海の行事の風物詩となっている。
46	平敷屋の ハーリー	勝連	無形 民俗	未	平敷屋は地域住民だけでなく、国外や県外等の人たちと文化交流の場となっており、海の行事の啓発も担っている。
47	津堅の ハーリー	勝連	無形 民俗	未	市内唯一の離島の津堅島は島を訪れる人たちとの交流の場となっており、海の行事の啓発も担っている。
48	浜の ハーリー	勝連	無形 民俗	未	浜は、海中道路を望めながら島を訪れる人たちとの交流の場となっており、海の行事の啓発も担っている。
49	比嘉の ハーリー	勝連	無形 民俗	未	比嘉は、太平洋を望めながら島を訪れる人たちとの交流の場となっており、海の行事の啓発も担

					っている。
50	屋慶名の ハーリー	与那城	無形 民俗	未	屋慶名は、藪地島を背景に海峡へとゴールを目指す。その海域は神様が怒って外国船を沈めたという伝説もある。
51	平安座の ハーリー	与那城	無形 民俗	未	市内最大の大会であり、島を訪れる人たちとの交流の場として海の行事の啓発も担っている。
52	桃原の ハーリー	与那城	無形 民俗	未	桃原は石油備蓄基地を背景に望む海の行事として市内でもおもしろい。
53	伊計の ハーリー	与那城	無形 民俗	未	伊計島は海上が砂浜となっており、大海原と島の空間で船漕ぎを競争する。
54	津堅の アミルシグッ	勝連	無形 民俗	未	漁場と網を使う仲間と共に大漁と新生児の健康を祈願する行事は、島の一大行事のマータンコーへつながる。
55	津堅のシヌグ	勝連	無形 民俗	未	津堅島は農業の五穀豊穡も祈願する。ひとりの男性が釣り人の格好で海に入る儀礼は海の行事の醍醐味である。
56	津堅のマータ ンコー	勝連	無形 民俗	未	神話の内容を再現する島の一大の行事は、島民から海の頭を選出する。
57	浜の シヌグ	勝連	無形 民俗	未	浜の行事の時は海が荒れ、漁師たちは島に寄ってくるスク（アイゴの稚魚）を獲る。スクガラスという漬物は珍味である。
58	伊計の シヌグ	与那城	無形 民俗	未	この季節は海が荒れ、男たちや女性たちは島に寄ってくるスク（アイゴの稚魚）を獲る。スクガラスという漬物は珍味である。
59	平安座の シヌグ	与那城	無形 民俗	未	島の海域の漁場を管理する海勢頭家と桃原家と新垣家が祭祀の供物として魚を献上する。
60	平安名のウム イ・キューナ	勝連	無形 民俗	市	海の子謡等を祭祀の時にパーパーターシンカ（女性たち）が歌う。
61	宮城 ウシデーク	与那城	無形 民俗	市	国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る民俗芸能は、海と島と芸能の成り立ちが醍醐味。
62	石川 ウスデーク	石川	無形 民俗	未	石川は国と国王の繁栄、航海安全を願って歌いイジュの花の枝をもちながら踊る姿が美しい。
63	伊波 ウスデーク	石川	無形 民俗	未	伊波の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
64	東恩納 ウスデーク	石川	無形 民俗	未	東恩納の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。

65	山城 ウスデーク	石川	無形 民俗	未	山城の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
66	天願 ウスデーク	具志川	無形 民俗	未	天願の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
67	安慶名 ウスデーク	具志川	無形 民俗	未	安慶名の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
68	田場 ウスデーク	具志川	無形 民俗	未	田場の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
69	具志川 ウスデーク	具志川	無形 民俗	未	具志川の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
70	南風原 ウスデーク	勝連	無形 民俗	未	南風原の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
71	平安名 ウスデーク	勝連	無形 民俗	未	平安名の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
72	内間 ウスデーク	勝連	無形 民俗	未	内間の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
73	平敷屋 ウスデーク	勝連	無形 民俗	未	平敷屋の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
74	浜 ウスデーク	勝連	無形 民俗	未	浜の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
75	比嘉 ウスデーク	勝連	無形 民俗	未	比嘉の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
76	津堅 ウスデーク	勝連	無形 民俗	未	津堅島の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
77	屋慶名 ウスデーク	与那城	無形 民俗	未	屋慶名の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
78	西原 ウスデーク	与那城	無形 民俗	未	西原の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
79	上原 ウスデーク	与那城	無形 民俗	未	上原の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
80	平安座 ウスデーク	与那城	無形 民俗	未	平安座島の女性たちが国と国王の繁栄、航海安全を願って歌い踊る。
81	伊計島共同売 店	与那城	建造 物	未	近代沖縄に活躍したマーラン船が沖縄本島北部と南部等を結び、共同売店を誕生させた。現在も運営しており、地域の魅力の発信を続けている。

<主な構成文化財>



<課題>

- ・海洋文化に関する記録保存が文化財専門職員や博物館施設の学芸員の不足で滞っており、専門家だけでなく市民も参画した記録保存や企画展等の活動が求められている。さらに学校教育では地域の自慢になる歴史文化の情報（SNS や動画配信、企画展）が求められている。そして、生涯学習でも本市の歴史文化について学びたいとの要望が出ている。
- ・平安座のサングワチャーは 2020（令和 2）年 4 月 13 日に本市の無形の民俗文化財に指定されたが、その他の魅力ある海の伝統行事も残されているにも関わらず、いまだに把握調査と詳細調査、報告書とリーフレット等の作成が取り組めていない。そのため、歴史・文化史上貴重なものとして位置づけられず、指定・登録できていない。
- ・市内各地の 9 箇所にあるハーリー行事で使用する木造船は戦前の規格の構造となっており、現代人の体格に合わせた構造となっておらず、転覆などの要因になりかねない。また、地域住民の人口減少等に伴いハーリー船の製作に必要な費用による負担が課題となり、その支援が求められている。
- ・古民家を活用した食事処の軒数は限られている。古民家の保存・活用が求められている。
- ・ウスデークの映像記録は 2015（平成 27）年度に 6 団体に対して実施したが、現存する 20 件のうち 14 件の記録はできていない状況である。また、継承団体に参加している継承者の高齢化に伴い、人材育成の課題が出ている。

<方針>

- ・海洋文化に関する記録保存や企画展等の活動は市民協働で取り組み、市民へ啓発する。学校教育では地域の自慢になる歴史文化の情報（SNS や動画配信、企画展）を供給する。生涯学習では歴史文化講座等を実施し、地域ガイドの育成を図る。
- ・海の伝統行事やその習慣については把握調査と詳細調査をもとに報告書やリーフレット等を刊行し、歴史・文化史上貴重なものを指定・登録する。
- ・魅力ある地域のハーリー行事は継続させていくため、木造船に必要な費用を行政と企業、民間団体等と連携し、その資金づくりと支援の制度を整備する。
- ・既存の食事処との連携や古民家を活用した食堂を整え、観光客等への魅力づくりを図る。
- ・ウスデークの映像記録では未調査の団体保存会を対象に実施し、かつ継承団体の人材育成に取り組む。

＜取組＞

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～17	
5	歴史文化遺産ガイドの育成	既存のうるま市文化財ガイドの会も含め、地域ごとのガイド、島ごとのガイドを市民協働で育成する。	恒常 (R6～15)	行 住 民
11	海洋文化に関する記録保存	市内の海洋文化に関する現状把握のための緊急調査を市民団体や専門家と実施し、現時点の状況とその課題を確認する。	恒常 (R6～25)	行 所 住 研
12	海の伝統行事やその習慣についての調査	市内における海の伝統行事やその習慣についての価値を解明するため、市民団体や専門家と調査研究の活動を継続的に実施する。	恒常 (R6～15)	行 所 住 民 研
14	海の伝統行事やその習慣についての調査報告書、リーフレットの刊行	海の伝統行事やその習慣について調査した成果を報告書やリーフレットにまとめ、情報を発信する。	恒常 (R6～25)	行 住 民
16	文化財の指定・登録	海の伝統行事やその習慣について必要に応じて市指定及び登録を行う。保存・活用のための体制を目指す。	恒常 (R6～25)	行
21	ウスデーク継承団体への人材育成に伴う地域・伝承交流の開催	市内外の民俗芸能ウスデーク保存会を年に1度5団体ほどを集め、演舞し、情報の交換会を実施する。	前期 (R6～10)	行 住 民 学 研
22	ハーリー船建造支援事業	本市9箇所で開催している伝統行事のハーリー大会に使用する木造船の建造する地域を支援し、祭礼と造船技術の継承に取り組む。	後期 (R11～15)	行 住 民
29	ウスデークの映像記録作成事業	ウスデークの祭礼や伝統行事について調査を行うと共に動画などの記録を作成する。	前期 (R6～10)	行 民

32	学校出前講座(総合的な学習)の開催	歴史文化遺産の情報提供を目的に所管課職員や資料館学芸員が学校教育へ出向き、教育普及活動を実施する。	恒常 (R6～25)	行 住 民 学 研
33	海洋文化に関する歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	恒常 (R6～25)	行
48	海洋文化に関する企画展等の開催	海洋文化に関する企画展や体験講座等を実施し、その所有者及び管理者・観光・商業等関係者との協働体制の構築とその強化を図り、学校教育と生涯学習へ活かす。	前期～後期 (R6～15)	行 住 民 学 研
49	古民家リノベーション整備	歴史文化遺産の保存・活用の拠点の一つとして、古民家(木造家屋やアメリカ住宅等)のリノベーションの整備を検討する。	前期～後期 (R6～15)	行 住 民

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関



天願ウスデーク

②グスクと村落の形成のまち

先史時代から中世を通じて権勢を誇った按司（政治的リーダー）の活躍は、その後のうるま市の都市化の基礎となった。按司は政治、経済、宗教、軍事的な本拠地としてグスクを築き、平時の支配拠点や饗応施設として屋敷と集落を海に近い場所においた。また、住民から阿麻和利を輩出し、首里王府や海外とのつながりを背景に地域を繁栄させていった。

グスクは、沖縄本島中南部の特徴をもつ琉球石灰岩（サンゴ礁）のカルスト地形の立地を活かし築かれた。市内のグスクは、按司の活躍をうかがわせる遺跡や拝所（聖域な場所）、伝説、古文書、民具等の歴史文化遺産が数多く残されている。地域住民は現在においても村落とグスクを拝む伝統行事を継続している。琉球統一を維持しようとする首里王府と戦国時代の英雄として生きる勝連城跡の按司の阿麻和利を演じる現代版組踊「肝高の阿麻和利」が今も市民の誇りとなっている。

<構成文化財>

No.	構成文化財	地域	区分	指定等	概要
1	伊波城跡	石川	遺跡	県	市内で一番古いグスクで伊波按司が拠点としていた。その後、安慶名城跡と勝連城跡の按司たちの子孫を排出していく。
2	東恩納ヌール墓	石川	有形民俗	未	グスクの宗教を支えた神役の墓。神の墓と大切にされている。
3	東恩納ヌールの勾玉	石川	有形民俗	未	神役の神器が今でも東恩納公民館で大切にされている。
4	安慶名城跡	具志川	遺跡	国	伊波城跡の伊波按司の息子の太田按司が拠点としていた。
5	安慶名ノロの勾玉	具志川	有形民俗	未	神役の神器が今でも安慶名公民館で大切にされている。
6	田場ガー	具志川	遺跡	市	勝連按司の阿麻和利の側近をしていた屋慶名アカーとの関わりのある湧き水。
7	大田坂	具志川	遺跡	市	琉球王府の時代に整備された道のひとつ。琉球石灰岩を使って整えられている。
8	兼箇段グスク	具志川	遺跡	未	安慶名城跡の太田按司が最初に拠点を整えよと考えた場所である。
9	喜屋武グスク	具志川	遺跡	未	勝連城跡の按司の阿麻和利を征伐した鬼大城賢雄が拠点にしたグスクのひとつ。
10	江洲グスク	具志川	遺跡	未	阿麻和利と鬼大城賢雄が従っていた琉

					球国王・尚泰久王が晩年に拠点にした。
11	江洲印部土手遺跡	具志川	遺跡	未	琉球王府の測量基準点として設置された。
12	具志川グスク	具志川	遺跡	市	勝連城跡の北側の海に配置したグスク。勝連城跡と同じ骨の鍬が面白い。
13	防潮堤復旧工事竣工記念碑	具志川	有形 (歴史)	未	集落の高潮の災害と土地拡大を兼ね備えた琉球石灰岩の護岸の設置を記念した。
14	耕地整理記念碑	勝連	有形 (歴史)	未	集落の高潮の災害と土地拡大を兼ね備えた琉球石灰岩の護岸の設置を記念した。
15	耕地整理記念碑	与那城	有形 (歴史)	未	集落の高潮の災害と土地拡大を兼ね備えた琉球石灰岩の護岸の設置を記念した。
16	災害復旧耕地整理記念碑	与那城	有形 (歴史)	未	集落の高潮の災害と土地拡大を兼ね備えた琉球石灰岩の護岸の設置を記念した。
17	南風原護岸	勝連	有形 (建造)	未	集落の災害と土地拡大を兼ね備えた琉球石灰岩の護岸はグスクの石垣の技が活かされている。
18	平敷屋護岸	勝連	有形 (建造)	未	集落の災害と土地拡大を兼ね備えた琉球石灰岩の護岸はグスクの石垣の技が活かされている。
19	浜護岸	勝連	有形 (建造)	未	集落の災害と土地拡大を兼ね備えた琉球石灰岩の護岸はグスクの石垣の技が活かされている。
20	桃原護岸	与那城	有形 (建造)	未	集落の災害と土地拡大を兼ね備えた琉球石灰岩の護岸はグスクの石垣の技が活かされている。
21	伊計島護岸	与那城	有形 (建造)	未	集落の災害と土地拡大を兼ね備えた琉球石灰岩の護岸はグスクの石垣の技が活かされている。
22	勝連城跡	勝連	遺跡	国	琉球石灰岩の頂上に湾曲した石垣を積み、整えた金武湾と中城湾を望む。
23	南風原古島遺跡	勝連	遺跡	未	勝連城跡の城下町のひとつ。そこに暮らしていた人々は勝連南風原へ移住し

					た。
24	勝連城跡 出土品	勝連	有形 (考古)	未	タイやベトナム、中国等との海外貿易で栄えた。ローマのコインも出土した。
25	現代版組踊 「肝高の阿麻和利」	勝連	無形 文化	未	按司の阿麻和利を中学生と高校生が演じ、うるまのスピリットを伝えている。
26	南風原集落	勝連	文化 景観	未	グスクと集落の関係を景観集落として歴史文化遺産を今でも伝えている。
27	南風原ノロの 勾玉	勝連	有形 民俗	未	神役の神器が今でもノロ殿内の島袋家で大切にされている。
28	南風原のガン ヤー（竈屋）	勝連	有形 (建造)	未	南風原古島より移住してきた人々が竈を保管するために琉球石灰岩で整備した。
29	南風原の 竈祝い	勝連	無形 民俗	未	竈のメンテナンスを12年に一度に行い数々の民俗芸能を奉納する。
30	南風原の 村獅子	勝連	有形 民俗	市	南風原古島より移住してきた人々が集落の周辺に琉球石灰岩の村獅子を設置。
31	勝連間切 南風原村文書	勝連	有形 (古文)	県	琉球王府の地割制度の内容が記録され、景観集落として残されている。
32	宇江城グスク	勝連	遺跡	未	勝連城跡の按司・阿麻和利が幼少の頃、あずけられ、育てられた。
33	ワイトゥイ	勝連	遺跡	市	明治期、分厚い琉球石灰岩の層を人力で開通させ、農地へ行き来しやすくした。
34	ガーラ缸	与那城	有形 (建築)	市	昭和の天皇陛下即位を記念し、琉球石灰岩の石積をアーチ状に整備した。
35	平安名集落の 石材	勝連	有形 民俗	未	琉球石灰岩の石材に携わる職人がいた集落。屋敷内にその痕跡を今も伝える。
36	平敷屋の 採石場	勝連	文化 景観	未	琉球石灰岩の高級石材のトラバーチンを生産した。国会議事堂の柱にも使用した。
37	石工生産用具	与那城	有形 民俗	未	琉球石灰岩の石材や石製建築に関わった生産用具が今も残されている。
38	平敷屋古島遺 跡出土品	勝連	有形 (考古)	未	グスク時代から近世にかけて武具や関連する外国産の陶磁器類を多く出土した。
39	平敷屋製糖工 場跡	勝連	遺跡	国登録	琉球石灰岩の地層を活かした農業を展開。現在も県産品を支え続けている。

40	製糖用窯跡	石川	遺跡	未	製陶業をはじめとした近代の産業を伝えるオリジナルの遺構を展示している。
41	サトウキビ農業	全域	無形民俗	未	近世において沖縄県内で2番目の生産地としてサトウキビ農業が始まった。
42	アラカーグスク	勝連	遺跡	未	津堅島にある2つのグスクのうち、そのひとつ。その山の下にウブガーがある。
43	クボウグスク	勝連	遺跡	未	村の先祖＝神の骨があった。
44	浜グスク	勝連	遺跡	未	浜集落を擁護する山にある。
45	比嘉グスク	勝連	遺跡	未	比嘉集落を擁護する山にある。
46	比嘉のハルガー	勝連	有形 (建造)	未	18～19世紀に渡り水田の用水路として琉球石灰岩の石積みで工事した。
47	平安座イリグスク	与那城	遺跡	未	平安座集落を擁護する山のひとつ。その下に古島(古村落)があったとされている。
48	平安座アガリグスク	与那城	遺跡	未	平安座集落を擁護する山のひとつ。その周辺には先史時代の遺跡がある。
49	泊グスク	与那城	遺跡	未	宮城集落に関わりがある。アガリ世の神と按司を祀る神聖な場所となっている。
50	南グスク	与那城	遺跡	未	南山より逃れてきた宮城按司を祀る。
51	伊計グスク	与那城	遺跡	未	伊計集落を擁護する山のひとつ。
52	大泊ガー	与那城	有形 (建造)	未	伊計島の湧き水のひとつ。その整備に琉球石灰岩が使われている。
53	屋慶名アカーの石器	与那城	有形 (歴史)	未	勝連城跡の按司・阿麻和利の側近であったアカーが使用した石器と言われている。
54	森根家の仏具	与那城	有形 (美術)	未	勝連城跡の按司・阿麻和利の側近であったアカーを祀る仏具が今も残されている。

＜主な構成文化財＞



1. 伊波城跡



3. 東恩納ヌール勾玉



22. 勝連城跡



24. 勝連城跡出土物



33. ワイトウイ



25. 現代版組踊 肝高の阿麻和利



36. 平敷屋の採石場

<課題>

- ・勝連城跡やその他のグスクで使われている琉球石灰岩は勝連半島の平敷屋集落に採石場の拠点があり、その資材が国会玄関口やその他有名デパートなどで使われていることは知られていない。本市の地形やグスク、集落を形成する琉球石灰岩は本市の特産でありながら学校教育や生涯学習、企画展等へ活用されていなかった。それらを案内するガイドもない状態である。
- ・伊波城跡、安慶名城跡、勝連城跡等のグスクと村落の関係について、各時代の姿や潜在的な価値を明らかにするために発掘調査、文献調査、民俗学調査等の多様な側面からの総合的な調査研究を行う必要がある。
- ・グスクと村落の一体的な歴史の空間を体感できる取組が不十分である。

<方針>

- ・うるま市の特産のひとつである琉球石灰岩が屋敷やグスク、護岸等で使われている。その資源に着目し、生産地として学校教育や生涯学習に取り組み、普及啓発する。また、それらを案内するガイドへの育成も行う。
- ・グスクと村落の関係は、各時代の姿や潜在的な価値を明らかにするために発掘調査、文献調査、民俗学調査等の多様な側面からの総合的な調査研究を計画的・継続的に推進する。その成果はグスクと村落という歴史文化の理解を深めるため、学校教育と生涯学習等を通し、交流の場としてまちづくりを図る。
- ・市民や観光客がグスクと村落を歴史の空間として味わえるよう庁舎内関係各課やうるま市観光物産協会等と連携し、現代版組踊肝高の阿麻和利の演劇、シティプロモーションの活動やユニークベニュー、SNSの動画の配信等のコンテンツづくりに取り組む。

<取組>

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～17	
5	琉球石灰岩に関する歴史文化遺産ガイドの育成	既存のうるま市文化財ガイドの会も含め、琉球石灰岩に関するガイドを市民協働で育成する。	恒常 (R6～15)	行 住 民
11	グスクと村落の関係の調査研究	市内に所在するグスクと村落の関係について調査を市民団体や専門家と実施し、現時点の状況とその課題を確認する。	恒常 (R6～25)	行 所 住 民

				研
32	琉球石灰岩に関する学校出前講座(総合的な学習)の開催	琉球石灰岩の普及啓発を目的に所管課職員や資料館学芸員が学校教育に出向き、教育普及活動を実施する。	恒常 (R6～25)	行 住 民 学 研
32	グスクと村落に関する学校出前講座(総合的な学習)の開催	グスクと村落の普及啓発を目的に所管課職員や資料館学芸員が学校教育に出向き、教育普及活動を実施する。	恒常 (R6～25)	行 住 民 学 研
33	琉球石灰岩に関する歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、琉球石灰岩に関する調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	恒常 (R6～25)	行
33	グスクと村落に関する歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、グスクと村落に関する調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	恒常 (R6～25)	行
44	勝連城跡を活用したユニークベニュー	歴史文化の空間として世界遺産の勝連城跡などを活用した宿泊体験やコスプレ大会、ヨガ、ディナーなどを実施する。	前期 (R6～10)	行 住 民
45	歴史文化の空間として味わえる魅力発信プロモーション事業	世界遺産の勝連城跡や琉球石灰岩、食、芸能などの魅力を活用し、「沖縄のすべてのコンテンツ、アクティビティが体感できるまちうるま」としてシティプロモーションを開催する。	前期 (R6～10)	行 住 民
46	「Go ! Go ! URUMA Lovers」動画配信事業	うるま市物産協会による自然遺産や歴史文化遺産を含む市の魅力を配信する YouTube 番組は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行 民

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関

③歌と芸能を生み出すまち

うるま市に残る歌や伝統芸能、民俗芸能は、沖縄の歴史のなかで各時代に誕生した創作物を多くみることができる。とくに御嶽やグスク、海で神々に祈るウムイ（祝詞）は市内の各集落に残され、沖縄県最古の歌集の『おもそさうし』にも収録されている。とくに歌の世界では、近世琉球に活躍した平敷屋朝敏（琉球王府の役人）が創作した『貧家記』、その妻も創作した「高離節」等、蔡大鼎（琉球王府の役人）が創作した『伊計村遊草』の漢詩もある。さらに近年は作曲家の岩代浩一との親交が深かった桃原邑子の短歌も残されている。

それらの作品は地域の先人が残してきた数多くの歌の百景を礎に、琉球古典音楽や沖縄民謡等が発展し、伝統的なエイサーや沖縄民謡の歌手、演劇や劇団等が生まれ、多くのファンを魅了し続けている。

<構成文化財>

No.	構成文化財	地域	区分	指定等	概要
1	三線翁長開鐘	具志川	有形 (工芸)	県	琉球国王の尚瀬王が愛用した名器とされている。
2	三線久場春殿型	具志川	有形 (工芸)	県	名工・久場春殿が創作したと言われている名器である。
3	三線真壁型	石川	有形 (工芸)	県	18～19 世紀に活躍した琉球古典音楽の大家・幸地亀千代が愛用した名器である。
4	津堅島の唐踊り	勝連	選択 無形	県	先島諸島や奄美諸島の影響を受けた旧暦 8 月 15 日踊りを今も伝えている。
5	三線真壁型 (大型)	石川	有形 (工芸)	市	明治期に創作された名器と伝えられている。
6	三線平仲知念型 (大型)	石川	有形 (工芸)	市	18 世紀の名工・知念大工によって創作されたと伝えられている。
7	三線鴨口与那型 (中型)	石川	有形 (工芸)	市	明治期に創作された名器と伝えられている。
8	天願獅子舞	具志川	無形 民俗	市	首里城下の御殿で奉公していた若者が伝えたと言われている。
9	田場ティンペー	具志川	無形 民俗	市	いつ伝来されたか不明であるが、獅子舞と共にノロ殿内で奉納される古武術。
10	南風原の獅子舞	勝連	無形 民俗	市	18 世紀に勝連古島から村落移動してきた時から伝わる民俗芸能である。
11	平敷屋エイサー	勝連	無形	市	2021 (令和 3) 年の東京オリンピック

			民俗		開会式でも出演した伝統的なエイサー踊り。
12	石川エンサー	石川	無形 民俗	未	空手の型のように踊る姿は、石川らしさを伝え、見学者を魅了し続けている。
13	伊波エイサー	石川	無形 民俗	未	伊波の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
14	嘉手苺エイサー	石川	無形 民俗	未	嘉手苺の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
15	山城エイサー	石川	無形 民俗	未	山城の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
16	東恩納 エイサー	石川	無形 民俗	未	琉球古典音楽の巨匠のひとり登川誠仁が作詞・作曲した歌で踊られている。
17	石川曙区 エイサー	石川	無形 民俗	未	曙区の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
18	旭区青年会 エイサー	石川	無形 民俗	未	旭区の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
19	城北区青年会 エイサー	石川	無形 民俗	未	城北区の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
20	前原区青年会 エイサー	石川	無形 民俗	未	前原区の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
21	石川港区 エイサー	石川	無形 民俗	未	港区の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
22	石川南栄区 エイサー	石川	無形 民俗	未	南栄区の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
23	石川中央区 エイサー	石川	無形 民俗	未	中央区の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
24	石川松島区 エイサー	石川	無形 民俗	未	松島区の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
25	石川宮前区 エイサー	石川	無形 民俗	未	宮前区の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
26	川崎エイサー	具志川	無形 民俗	未	川崎の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
27	天願エイサー	具志川	無形 民俗	未	沖縄市の登川青年会との交流により独自の型を取り入れ、今に伝えている。
28	安慶名エイサー	具志川	無形 民俗	未	曲それぞれに腰を落とした動きで迫力のある踊りは人々に親しまれている。

29	宇堅エイサー	具志川	無形 民俗	未	宇堅の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
30	田場エイサー	具志川	無形 民俗	未	田場のパーランクーのバチさばきは、地域の人々に親しまれている。
31	具志川エイサー	具志川	無形 民俗	未	東京の新宿エイサーまつりにも招聘され、地域の魅力を発信し続けている。
32	赤野エイサー	具志川	無形 民俗	未	赤野のパーランクーのバチさばきは、地域の人々に親しまれている。
33	昆布エイサー	具志川	無形 民俗	未	昆布の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
34	大田エイサー	具志川	無形 民俗	未	大田の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
35	上江洲エイサー	具志川	無形 民俗	未	上江洲の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
36	仲嶺エイサー	具志川	無形 民俗	未	仲嶺の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
37	喜屋武エイサー	具志川	無形 民俗	未	喜屋武の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
38	兼箇段エイサー	具志川	無形 民俗	未	兼箇段の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
39	宮里エイサー	具志川	無形 民俗	未	宮里の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
40	赤道エイサー	具志川	無形 民俗	未	もともとパーランクーだったが、締太鼓を使う踊りに変え、迫力を増した。
41	江洲エイサー	具志川	無形 民俗	未	新たに曲目も増やしスローテンポからアップテンポへの変化で魅了する。
42	高江洲エイサー	具志川	無形 民俗	未	高江洲の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
43	米原エイサー	具志川	無形 民俗	未	米原の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
44	西原エイサー	具志川	無形 民俗	未	西原の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
45	上平良川エイサー	具志川	無形 民俗	未	上平良川の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
46	川田エイサー	具志川	無形	未	川田の伝統的なエイサーのひとつと

			民俗		され、地域の人々に親しまれている。
47	塩屋エイサー	具志川	無形 民俗	未	塩屋の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
48	豊原エイサー	具志川	無形 民俗	未	豊原の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
49	前原エイサー	具志川	無形 民俗	未	前原の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
50	志林川エイサー	具志川	無形 民俗	未	志林川の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
51	南風原の テークチリー	勝連	無形 民俗	未	素朴で市内の伝統的エイサーと一味違って魅力がある。
52	平安名エイサー	勝連	無形 民俗	未	エイサーの合間に出てくるコッケイ（道化師）踊りは、人々を魅了する。
53	内間エイサー	勝連	無形 民俗	未	内間の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
54	比嘉 パーランクー	勝連	無形 民俗	未	屋慶名エイサーへ影響を与えた型は、多くの人々に奥深さを伝え続けている。
55	浜エイサー	勝連	無形 民俗	未	浜の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
56	津堅エイサー	勝連	無形 民俗	未	津堅の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
57	与那城エイサー	与那城	無形 民俗	未	平敷屋エイサーと同じく伝統的なエイサーを今も伝え続けている。
58	饒辺エイサー	与那城	無形 民俗	未	饒辺の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
59	屋慶名エイサー	与那城	無形 民俗	未	按司の格好に扮したパーランクーの隊列は人々を今も魅了し続けている。
60	平安座エイサー	与那城	無形 民俗	未	平安座の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
61	宮城エイサー	与那城	無形 民俗	未	宮城の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
62	上原エイサー	与那城	無形 民俗	未	上原の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
63	池味エイサー	与那城	無形 民俗	未	池味の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。

64	桃原エイサー	与那城	無形 民俗	未	桃原の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
65	伊計エイサー	与那城	無形 民俗	未	伊計の伝統的なエイサーのひとつとされ、地域の人々に親しまれている。
66	伊波獅子舞	石川	無形 民俗	未	祓い獅子の舞は今ないが、神獅子として祀り、伊波を魔物から守っている。
67	東恩納獅子舞	石川	無形 民俗	未	祓い獅子の舞は今ないが、神獅子として祀り、東恩納を魔物から守っている。
68	上江洲獅子舞	具志川	無形 民俗	未	サルも登場する伝統的な獅子舞は、地域の人々に親しまれている。
69	兼箇段獅子舞	具志川	無形 民俗	未	神獅子は現在も敬い、地域の人々が今も受け続けている。
70	安慶名獅子舞	具志川	無形 民俗	未	祓い獅子の舞は今ないが、神獅子として祀り、安慶名を魔物から守っている。
71	江洲獅子舞	具志川	無形 民俗	未	神獅子は現在も敬い、地域の人々が今も受け続けている。
72	田場獅子舞	具志川	無形 民俗	未	ティンベー等の芸能と共にノロ殿内で奉納され、人々に親しまれている。
73	西原獅子舞	具志川	無形 民俗	未	西原の神獅子は現在も敬い、地域の人々が今も受け続けている。
74	栄野比獅子舞	具志川	無形 民俗	未	祓い獅子の舞は今ないが、神獅子として祀り、栄野比を魔物から守っている。
75	平安名獅子舞	勝連	無形 民俗	未	祓い獅子の舞は今ないが、神獅子として祀り、平安名を魔物から守る。
76	平敷屋獅子舞	勝連	無形 民俗	未	神獅子は現在も敬い、地域の人々が今も受け続けている。
77	内間獅子舞	勝連	無形 民俗	未	祓い獅子の舞は今ないが、神獅子として祀り、内間を魔物から守っている。
78	西原獅子舞	与那城	無形 民俗	未	祓い獅子の舞は今ないが、神獅子として祀り、西原を魔物から守っている。
79	石川蝶ぼたん	石川	無形 民俗	未	石川集落を代表とする踊りで人々に親しまれている
80	具志川松竹梅	具志川	無形 民俗	未	折口信夫を中心とする日本民俗協会主催の琉球古典芸能大会にも関わった玉城盛重が伝えた舞踊である。
81	宮城十五祝い	与那城	無形	未	15 歳を迎えた男子がノロ殿内などで

			民俗		空手を奉納し、地域の魅力を発信する。
82	伊計島の オーギーメー	与那城	無形 民俗	未	15 歳を迎えた男子がノロ殿内などで 踊り等を奉納する。
83	伊計島の豊年祭	与那城	無形 民俗	未	五穀豊穰を願って地域住民総出が踊 る3日間は、秘境的芸能祭である。
84	浜の豊年祭	勝連	無形 民俗	未	子孫繁栄や健康長寿を願って地域住 民が踊る舞台は、沖縄芸能の宝庫だ。
85	比嘉の豊年祭	勝連	無形 民俗	未	子孫繁栄や健康長寿を願って地域住 民が踊る舞台は、沖縄芸能の宝庫だ。
86	浜千鳥の歌碑	具志川	有形 (歴史)	未	沖縄学の父・伊波普猷が掘り起こした 琉歌は、古典音楽の学びの場となる。
87	五穀豊穰の歌碑	与那城	有形 (歴史)	未	古典音楽の屋慶名クワディーサーの 名木と共にある。
88	高離節の歌碑	与那城	有形 (歴史)	未	18 世紀に活躍した平敷屋朝敏の妻が 残した。その島民の人情を学べる。
89	犬名河の碑	与那城	有形 (歴史)	未	水の深刻を島民の女性たちの暮らし と結びつけた歌は、学びの場となる。
90	平敷屋朝敏の歌碑	勝連	名勝	未	18 世紀に活躍した平敷屋朝敏が残し た歌は、芸能の学びの場となる。
91	平敷屋タキノー	勝連	遺跡	市	平敷屋朝敏が地域住民と共に作った 心字池は、歴史の学びの場となる。
92	貧家記	勝連	名勝	未	平敷屋朝敏が残し歌は、地域住民の心 の支えと歴史の学びとなっている。
93	伊計村遊草	与那城	名勝	未	18世紀の役人の蔡大鼎が残した漢詩。 今でもその情景に味わえられる。
94	シヌグガマ	勝連	遺跡	未	琉球音楽の祖のアカインコが暮らし た。琉球古典音楽の学びの場となる。
95	ペークガマ	勝連	史跡	未	チキンペーカーという人物が津堅ア カッチュに棒術を伝えた聖地である。
96	津堅の棒術	勝連	無形 (空手)	未	津堅アカッチュの子孫が受け継ぎ、今 日でもその棒術を赤嶺家が継承する。
97	あごーりば食 堂（古民家）	与那城	有形 (建造)	未	古民家を活用し、地域住民たちが三線 等の学びの場となっている。
98	あがりめーじょ ー（古民家）	勝連	有形 (建造)	未	復帰前沖縄コンクリートの古民家を 活用し、三線等の学びの場となる。

99	チャーン	具志川	天然 (動物)	県	近世より伝わる鶏の鳴き声をうるま市祭り等に啓発活動を展開している。
100	世禮國男の銅像	与那城	有形 (歴史)	未	小学生に向けて沖縄県で初めて三線の工工四を音符に表した音楽家である。
101	具志川獅子舞	具志川	無形 民俗	未	具志川の神獅子は現在も敬い、地域の人々が今も受け継いでいる。



1. 三線翁長開鐘



81. 宮城十五祝い



72. 田場獅子舞



59. 屋慶名エイサー



90. 平敷屋朝敏の歌碑



88. 高離節の歌碑



99. チャーン



97. あごーりば食堂(古民家)

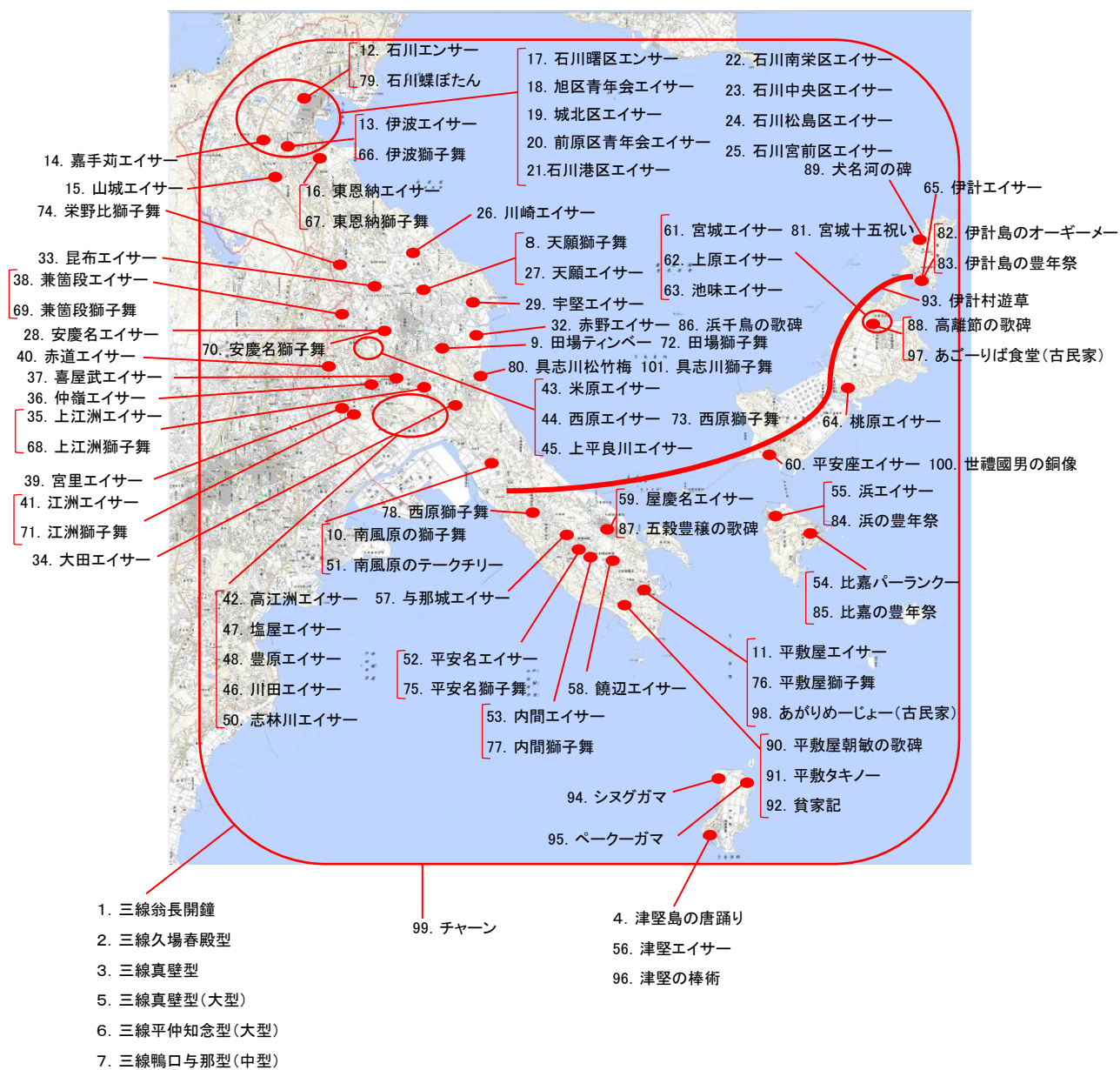


100. 世禮國男の銅像



8. 天願獅子舞

<主な構成文化財>



<課題>

- ・伝統芸能および民俗芸能では、どの団体も少子高齢化の影響を受け、後継者不足という課題に直面している。本市では毎年、「うるま市エイサーまつり」や「全島獅子舞フェスティバル」を開催しているが、その出演団体の減少で歴史文化遺産の存続がされ危ぶまれている。地域住民は伝統行事の芸能にふれる機会が少なく、学校教育や生涯学習の講座、企画展等の取り組みが十分ではない。
- ・沖縄の歌や琉球古典音楽、沖縄民謡に欠かせない道具のひとつに三線がある。本市では、その職人たちの技術や来歴などの実態が調べられていない。さらには歌や音楽に関わってきた著名な唄者や三線の演奏者なども同様に調べられていない。その把握調査と詳細調査、報告書やリーフレットの刊行も不足している。
- ・三線の音色の鳴き声を表現し、愛好家に親しまれているチャーンは、沖縄県の天然記念物に指定されている。その保存団体は本市にあるが、その会員の年齢層も高齢化し、後継者育成への課題を抱えている。

<方針>

- ・伝統行事を担う民俗芸能の団体に対しては、「伝統文化・民俗芸能伝承者活動事業」をもって踊りに使われる衣装や道具の整備に支援する。また、継承団体が地域の伝統行事で演舞や演奏を発表できるようにも支援する。いったん継承が途絶えた地域は継承者が残っている場合にその復活の契機を促せるよう庁舎各課関係部署や民間団体、企業などと連携し、支援の制度や発表の場を整備する。地域住民には、伝統行事の芸能に触れる機会を増やし、学校教育や生涯学習の講座・企画展などで普及啓発する。
- ・三線を製作する職人や美術工芸品の三線、無形文化財の保存会に関する把握調査と詳細調査をもとに報告書やリーフレット等を刊行し、歴史・文化史上貴重なものを指定・登録する。
- ・県の天然記念物に指定されているチャーンの保存会については経済産業部と農林水産部と連携し、市のイベントにも活用する。そして、その他の芸能と関連させて市民へ SNS や動画配信等の啓発活動を図り、後継者の育成となる機会の取り組みを促す。

<取組>

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～17	
5	歌と芸能に関する歴史文化遺産ガイドの育成	既存のうるま市文化財ガイドの会も含め、歌と芸能に関するガイドを市民協働で育成す	恒常 (R6～15)	行 住

		る。		民
11	歌と芸能に関する文化財把握調査	美術工芸品、無形文化財、無形の民俗文化財等に関する現状把握のための緊急調査を市民団体や専門家と実施し、現時点の状況とその課題を確認する。	恒常 (R6～25)	行 所 住 研
12	歌と芸能に関する文化財詳細調査	美術工芸品、無形文化財、無形の民俗文化財等の本質的価値を解明するため、市民団体や専門家と調査研究の活動を継続的に実施する。	恒常 (R6～15)	行 所 住 民 研
14	歌と芸能に関する調査報告書、リーフレットの刊行	美術工芸品、無形文化財、無形の民俗文化財等に関する調査研究の結果を報告書やリーフレットにまとめ、情報を発信する。	恒常 (R6～25)	行 住 民
16	歌と芸能に関する文化財の指定・登録	歌と芸能について必要に応じて市指定及び登録を行う。保存・活用のための体制を目指す。	恒常 (R6～25)	行
29	エイサーや獅子舞に関する映像記録作成事業	エイサーや獅子舞等に関する調査を行うと共に動画などの記録を作成する。	前期 (R6～10)	行 民
31	伝統文化・民俗芸能伝承活動事業	民俗芸能の継承やその復活を促すため、道具や衣装の購入、発表会の活動について支援を実施する。	前期 (R6～10)	行
32	歌と芸能に関する学校出前講座(総合的な学習)の開催	歌と芸能に関する普及啓発を目的に所管課職員や資料館学芸員が学校教育に出向き、教育普及活動を実施する。	恒常 (R6～25)	行 住 民 学 研
33	歌と芸能に関する歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、歌と芸能に関する調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	恒常 (R6～25)	行
39	うるま市エイサーまつりの開催	沖縄のなかでも伝統的なエイサーが残る市内の保存会や青年会等の継承とその公演の場をつくるため、毎年夏場にエイサーまつりを開催する。	恒常 (R6～25)	行 住 民
40	全島獅子舞フェスティバルの開催	唯一、沖縄県内で開催している市の獅子舞フェスティバルに市内外の獅子舞保存会や	恒常 (R6～25)	行 住

		民俗芸能を出演の機会をつくり、その継承と技術の向上を図るために開催する。		民
44	うるままるごと音楽祭	戦災後に地域の民俗芸能等で復興をとげてきた本市の歴史文化を活かし、文化芸術の地域づくりを実施する。	前期 (R6～10)	行 住 民
45	うるま市の魅力発信プロモーション事業	伝統行事や琉球古典音楽、沖縄民謡などの魅力を活用し、「沖縄のすべてのコンテンツ、アクティビティが体感できるまち うるま」としてシティプロモーションを開催する。	前期 (R6～10)	行 住 民
46	「Go！Go！URUMA Lovers」動画配信事業	うるま市物産協会による歌と芸能の魅力を配信するYouTube 番組は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行 民
48	歌と芸能に関する企画展等の開催	歌と芸能に関する企画展や体験講座等を実施し、その所有者及び管理者・観光・商業等関係者との協働体制の構築とその強化を図り、学校教育と生涯学習へ活かす。	前期～後期 (R6～15)	行 住 民 学 研

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、
民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関



全島獅子舞フェスティバル

① 戦後復興発祥のまち

うるま市はアメリカ軍政府の統治下においてその諮問機関の働きをする諮詢委員会が創設され、のちに戦後沖縄の自治として沖縄民政府が誕生した。とくに石川収容所は戦後沖縄の政治、経済、学校、文化等をリードし、衣料産業やファッション、大衆芸能や音楽、ラジオで目覚ましい影響力を県民へ与え続けてきた。また、飲食でも民衆に強い影響を与え、ステーキやアイスクリームを始めとするアメリカの食文化、タコライス、いなり、チキンが誕生した。そして、沖縄の伝統的な郷土料理では、「てびちそば」の発祥の地としても知られるようになった。

近代のうるま市は南米や南洋に出稼ぎ・移民が果物や先住民のダンス等を持ち帰り、国際性豊かな文化観光都市としても活躍している。そのなかでハワイ移民の市出身者が豚 550 頭を送り届けた支援は、戦後沖縄の経済を発展させた。

<構成文化財>

No.	構成文化財	地域	区分	指定等	概要
1	石川部落事務所	石川	遺跡	市	沖縄県内で唯一、戦前に建造された。今でも民俗芸能等の練習の場所である。
2	沖縄諮詢会堂跡	石川	遺跡	市	戦後沖縄の自治と行政の発祥の地となった伝統建築物である。
3	東恩納博物館跡	石川	遺跡	市	戦後沖縄の歴史文化を発信した場所。
4	旧志喜屋孝信 知事官舎跡	石川	有形 (建造)	未	戦後沖縄で初めて知事となった志喜屋氏が住んだ。現在も伝統建築物が残る。
5	石川白浜公園	石川	有形 (建造)	未	石川ビーチの魅力を残すため、象設計集団が構想し、建造物を整えた魅力の地。
6	石川ビーチ	石川	名勝	未	米軍統治下で米軍関係者のみが使用した海岸。現在は市民の憩いの場である。
7	仲よし地蔵	石川	有形 (美術)	未	武者小路実篤の原画をもとに銅板を製作。現在は児童の慰霊塔となっている。
8	棟方志功の水墨画	石川	有形 (美術)	未	仲よし地蔵とともに贈られた水墨画は、戦後沖縄の復興の資料となっている。
9	てびちそば	石川	無形 民俗	未	戦後沖縄で石川街道から始まり沖縄初のてびちそばは現在も大衆の象徴である。
10	ブローニー	石川	無形 民俗	未	戦後沖縄で石川街道から始まったアメリカ菓子は現在も人々に親しまれている。
11	ジャーマンケ	石川	無形	未	戦後沖縄で石川街道から始まったアメ

	ーキ		民俗		リカ菓子は今でも人々に親しまれている。
12	うるま市の闘牛	全域	無形 民俗	市	戦後沖縄の娯楽競技の象徴として今日でも全島大会を繰り広げている。
13	石川チンシル ーの角	与那城	有形 (歴史)	未	昭和の大横綱となった牛の証は、資料館の標本として保管されている。
14	伊波メンサー織具	石川	有形 民俗	市	戦災で消えつつあった資料を後世に残し、伝えようと展示されている。
15	伊波メンサー 織技能	石川	無形 民俗	市	現在は県工芸士認定2名も輩出し、工芸復興へ歩み続け、グッズ発案を続ける。
16	マッカーサー 立ち位置跡	石川	遺跡	未	連合軍最高司令官の立ち位置は、数少ない記憶に留め、物語の可能性となる。
17	栄野比の 島民ダンス	具志川	無形 民俗	未	南洋の先住民から学び、伝えた民俗芸能は地域の魅力を発信し続けている。
18	オイコバシ (大江戸橋)	具志川	有形 (建造)	未	ウルトラマンを創作した金城哲夫が戦後沖縄の映画製作で使用した。
19	うるま市の ステーキ	具志川	無形 民俗	未	アメリカ食文化は、現在住民の食文化の一部となり生き続けている。
20	いなり チキン	勝連	無形 民俗	未	アメリカの配給調味料等で誕生した食文化は、観光ツールにもなっている。
21	パフィ	具志川	無形 民俗	未	戦後沖縄のアメリカ菓子は祝いや運動会のおやつとして住民に親しまれている。
22	足踏みミシン	石川	有形 民俗	未	戦後沖縄にとってミシンの道具は裁縫の技術を塗り替え、様々な衣服を生んだ。
23	洋風衣類	石川	有形 民俗	未	女学院で学ぶ女性たちは、洋服を生み続け、ファッションショー等をも開催した。
24	アイスクリーム	具志川	無形 民俗	未	沖縄代表の夏のおやつの発祥の地。今でも観光客等が求むものとして活躍する。
25	ベースボール 関連資料	石川 具志川	有形 民俗	未	戦後沖縄のスポーツを親しんだ人は数多い。これからの球児たちの光となる。
26	海豚映像等資料	具志川	有形 (歴史)	未	戦後沖縄の食糧危機を救った県出身者の移民たちが送った豚の貴重な資料。
27	栄野比集落資料	具志川	有形	未	収容所の記録を残した伝票や台帳等の

			(歴史)		記録は当時の人々の足跡をたどれる。
28	南風原集落文書	勝連	有形 (歴史)	未	収容所の記録を残した伝票や台帳等の記録は当時の人々の足跡をたどれる。
29	バスケットボール 関連資料	石川 具志川	有形 民俗	未	戦後沖縄のスポーツを親しんだ人は数多く、子どもたちの光となる。
30	石川多目的ドーム (闘牛場)	石川	有形 (建造)	未	沖縄県唯一のドーム型闘牛場は、全島闘牛大会が繰り広げられている。
31	ピカチュウ闘牛 マンホール	石川	有形 (美術)	未	石川多目的ドームに設置されている闘牛のデザインのマンホール。
32	アメリカ住宅群	石川	有形 (建造)	未	海が一望できるアメリカ住宅のコンクリート建築が今も利用されている。



15.伊波メンサー織



1.石川部落事務所



7. 仲よし地藏



8.棟方志功の水墨画

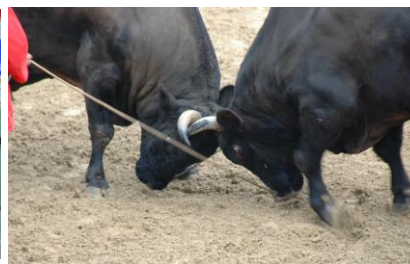
<主な構成文化財>



10.アラムードのフローニー



17. 栄野比の島民ダンス



12. うるま市の闘牛



21. パフィ



20. いなりチキン



19.うるま市のステーキ

<課題>

- ・戦後沖縄の復興については政治学や経済学、社会学の分野で記録が残されている。しかし、その歴史文化遺産の情報はこれまで詳細な調査が実施されず、報告書とリーフレット等の作成が不足している。そのため、歴史・文化史上貴重なものとして位置づけられず、指定・登録できていない。また、学校教育や生涯学習、企画展等への活用も不足している。
- ・人口減少等の影響により伊波メンサー織保存会の後継者不足と会員の高齢化が進み、課題を抱えている。
- ・民俗芸能では、南洋移民からもたらされた栄野比集落の島民ダンスがある。戦後沖縄に伝来したため新しいダンスという意識が強く、これまで歴史文化としての映像記録や資料は残されておらず、存続できるか不安を抱えている。
- ・沖縄の食文化の代名詞となっているアメリカ文化の影響を受けた菓子や料理は数多くあるものの、その調査が実施されておらず、報告書やリーフレット等の資料が不十分である。市内の代表的な郷土料理と外国食はデータベース化が整えられておらず、その活用も図られていない。
- ・第2次世界大戦の影響により沖縄の養豚業は危機的な状況に陥り、絶滅の危機となっていた。ハワイの日系移民は資金を集め、生きた豚 550 頭を海上輸送して支援し、戦後沖縄の経済を復興させてきたが、その調査が不十分である。
- ・戦後沖縄の社会・経済等の拠点であった市指定文化財の沖縄諮詢会堂跡、東恩納博物館跡、石川部落事務所以外にも伝統的なコンクリート建造物でアメリカ住宅群がある。その調査が実施されておらず、歴史文化遺産として保存・活用に関する取り組みが整えられていない。
- ・市指定のうるま市の闘牛は経済産業部のイベントに活用されているものの、その競技を支えている歴史文化遺産としての牛主や削蹄士、飼育方法等の保存・活用の情報が不十分である。

<方針>

- ・戦後沖縄の復興に関する調査を計画的・継続的に推進する。その成果は歴史文化の理解を深めるため、学校教育と生涯学習、企画展等を通し、戦後復興発祥のまちとしてのまちづくりを図る。また、必要があれば、歴史文化遺産の指定・登録を目指す。
- ・伊波メンサー織保存会の後継者育成事業を推進し、技術保持者の人材の確保と会員数の増加、組織の機能力等の向上を図る。
- ・栄野比集落の島民ダンスは民俗芸能の継承と交流の場づくりを整え、映像記録作成も図り、学校教育や生涯学習等へ活用を図る。
- ・アメリカ文化の影響を受けた食文化の調査に取り組み、報告書やリーフレット等の資料の充実化とデータベース化を整える。それらは、関係部署と企業等と共有し、活用を図る。
- ・沖縄戦後の養豚業を支えてきたハワイの日系移民の記録について、調査を取り組み、その

成果を学校教育や生涯学習、企画展等へ活用する。また、関係部署と企業等と連携し、市のブランドづくりと豚肉の消費拡大を推進する。

- ・戦後沖縄の歴史文化遺産に関わる伝統的なコンクリート建造物のアメリカ住宅群や古民家について調査を実施し、その成果をもとに関係部署と企業等と連携した保存・活用を図る。
- ・うるま市の闘牛に関する情報発信を行う。

<取組>

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～17	
5	戦後沖縄の復興に関する歴史文化遺産ガイドの育成	既存のうるま市文化財ガイドの会も含め、戦後沖縄の復興に関するガイドを市民協働で育成する。	恒常 (R6～15)	行 住 民
7	伊波メンサー織後継者育成事業	伊波メンサー織の技術に関する人材育成を実施する。	恒常 (R6～15)	行 住 民
11	戦後沖縄の復興に関する調査	戦後沖縄の復興に関する建造物、美術工芸品、無形文化財、無形の民俗文化財などの現状把握のための調査を市民団体や専門家と実施し、現時点の状況とその課題を確認する。	恒常 (R6～25)	行 所 住 研
12	伊波メンサー織や闘牛に関する調査	伊波メンサー織や闘牛に関する調査で価値を解明するため、市民団体や専門家と調査研究の活動を継続的に実施する。	恒常 (R6～15)	行 所 住 民 研
14	戦後沖縄の復興や伊波メンサー織、闘牛に関する調査報告書、リーフレットの刊行	戦後沖縄の復興や伊波メンサー織、闘牛に関する調査研究の結果を報告書やリーフレットにまとめ、情報を発信する。	恒常 (R6～25)	行 住 民
16	戦後沖縄の復興や伊波メンサー織、闘牛に関する文化財の指定・登録	戦後沖縄の復興について必要に応じて市指定及び登録を行う。保存・活用のための体制を目指す。	恒常 (R6～25)	行
29	島民ダンスの映像記録作成	島民ダンスについて調査を行うと共に動画な	前期	行

	事業	どの記録を作成する。	(R6～10)	民
32	戦後沖縄の復興に関する学校出前講座(総合的な学習)の開催	戦後沖縄の復興に関する価値を普及啓発するため、所管課職員や資料館学芸員が学校教育に出向き、教育普及活動を実施する。	恒常 (R6～25)	行 住 民 学 研
33	戦後沖縄の復興に関する歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、戦後沖縄の復興に関する調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	恒常 (R6～25)	行
34	生涯学習フェスティバルの開催	生涯学習の場において歴史文化遺産(伊波メンサー織など)の発表の場として市の生涯学習フェスティバル(ゆらてくまつり)に参加の機会をつくり、継承と啓発活動に取り組む。	恒常 (R6～25)	行 住 民
36	生きた豚 550 頭の支援に関するふるさとの偉人マンガの製作と活用事業	生きた豚 550 頭の支援に関するふるさとの偉人を対象にマンガを製作し、学校教育へ供給し、その活用から地域づくりの契機に取り組む。	前期 (R6～10)	行 住 民 学 研
41	全島闘牛大会の開催	市民に愛させている牛の角突きの大회를毎年数回に分けて開催し、県内で本市にしかない歴史文化の魅力を多くの県民や観光客に発信していくために開催する。	恒常 (R6～25)	行 住 民
42	伊波メンサー織の物産展等の開催	伊波メンサー織の技術を守るため、毎年受講生を募集し、技術の伝承を行う。また、その成果の作品をうるま市産業まつり等で発表し、商品の販売等にも努める。	前期 (R6～10)	行 民
43	BU-1グランプリ in URUMA	戦後沖縄の復興のひとつでアメリカ在住市出身が豚550頭を寄付した「海から豚がやってきた」の歴史をもとに豚食文化を振興するイベントを開催する。	前期 (R6～10)	行 住 民
45	うるま市の魅力発信プロモーション事業	戦後沖縄の復興に関する食や芸能などの魅力を活用し、「沖縄のすべてのコンテンツ、アクティビティが体感できるまち うるま」としてシティプロモーションを開催する。	前期 (R6～10)	行 住 民

46	「Go ! Go ! URUMA Lovers」 動画配信事業	うるま市物産協会による戦後沖縄の復興に 関する市の魅力を配信する YouTube 番組 は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行 民
48	戦後沖縄の復興に関する企 画展等の開催	戦後沖縄の復興にかんする企画展を開催 し、歴史文化遺産の所有者、観光関係者と などの連携し、学校教育と生涯学習へ活か す。	前期～後期 (R6～15)	行 住 民 学 研
49	古民家リノベーション整備	歴史文化遺産の保存・活用の拠点の一つと して、古民家(木造家屋やアメリカ住宅等)の リノベーションの整備を検討する。	前期～後期 (R6～15)	行 住 民

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、
民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関



伊波メンスー織



伊波メンスー



闘牛ドーム

2. 文化財保存活用区域

(1) 文化財保存活用区域の目的

文化財保存活用区域は、歴史文化遺産が特定の区域に集中しており、その周辺環境を含め、それらの歴史文化遺産の集まりを核として文化的な空間を創出するための計画的に設定する区域をいう。多種多様な歴史文化遺産が集中する区域を設定して保存・活用を図ることで、本市の歴史文化における魅力的な空間の創出につながることを期待される（注）。

（注）「文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画作成等に関する指針」（最終変更令和5年3月、文化庁）を参照による。

(2) 文化財保存活用区域の設定と考え方

本計画では、以下の観点を設定する。

- ① 本市の歴史文化を表象するストーリーとそれに基づく関連文化財群とも連動できる区域である。
- ② 歴史文化遺産を核とした文化的な空間が形成されている、またはその創出が期待される区域である。
- ③ 保存・活用を推進するための観光文化施設や博物館施設が歴史文化遺産に近く、それらの施設等の整備に適した区域である。
- ④ 域内で早急に保存のための取り組みが必要とされる歴史文化遺産がある。
- ⑤ 地域住民等によって歴史文化遺産の保存・活用の取り組みやまちづくりが盛んである。またはその推進が期待できる区域である。

ここでは、以下の7つの区域を「文化財保存活用区域」に設定する。

No.	文化財保存活用区域の名称
1	伊計島文化財保存活用区域
2	宮城島文化財保存活用区域
3	平安座島文化財保存活用区域
4	浜比嘉島文化財保存活用区域
5	津堅島文化財保存活用区域
6	海中道路文化財保存活用区域
7	具志川照間文化財保存活用区域



図 11 7つの「文化財保存活用区域」の区域・位置

1. 伊計島文化財保存活用区域

①概要

伊計島は主な産業がサトウキビと葉たばこ、黄金芋、漁業である。『琉球国由来記』（1713年）に記録されている供物は麦があり、近年その麦畑の栽培等を通してまちづくりを図っている。それらの加工品や農水産物は、地域住民の総出で出資した創立 100 年以上の共同売店で販売し、ボランティア団体や企業等の協力と連携をもって売店の魅力化も取り組んでいる。2022（令和4）年3月には自然と歴史文化を保存・活用を目指し、『伊計島憲章』を制定した。さらに 2023（令和5）年10月には『うるま市景観計画 別冊 伊計島重点地区景観づくり計画』も制定した。

②課題

- ・島外から訪れた観光客が地域住民の暮らしを配慮せず、聖域な場所の御嶽や墓地で撮った動画をネット上で拡散し、地域住民が困っている。また、聖域な場所の御嶽等に新たなモニュメントも無断で作り、地域住民の伝統行事等に支障をきたしている。
- ・生活水は上水道の整備により安定し、かつて使われていた湧き水が利用されていない。
- ・豊作と豊漁に関わる伝統行事や民俗芸能等は若い世代の参加が減っており、伝統文化の継承や産業振興の体制が十分でない。
- ・本市全域は都市計画区域であるため、建築基準法上の接道条件が義務つけられている。建物の更新時においては敷地の後退に伴い、伊計島特有の石積みや屋敷林、涼み台などの歴史的景観を保存、維持していくことが困難で大きな課題となっている。

③方針

- ・地域住民と行政と企業等が連携し、島の歴史文化の魅力を損なわないよう集落内の掲示板に島憲章や注意書きを掲示したり、インターネットの SNS 等で注意喚起や島の魅力を発信したり、島を利用する者と地域住民への意識改善のため、歴史文化遺産の啓発活動やガイド育成を推進する。
- ・使われていない湧き水は農業や家庭菜園、防災用水等に活かすため、集落内班ごとのコンクリート用水タンクを調査し、その成果の指定・登録と暮らしの振興を図る。
- ・島の産業に欠かせない伝統行事や民俗芸能等には、児童・生徒や興味・関心がある若者世代を参加させ、持続可能な継承の体制づくりや指定・登録を図る。
- ・伊計島重点地区景観づくり計画に基づき、既存の石積みや屋敷林、涼み台の保全を目的として、景観重要建造物等の指定、文化財の指定・登録等の可能性を検討する。



豊年祭（村芝居）



踊りの奉納



伝統祭祀

④ 区域図



伊計ウスデーク



石獅子



麦収穫



伊計大橋

⑤主な文化財一覧

No.	指定状況	種別	名称
1	未指定	有形民俗	セーナナー
2	未指定	有形民俗	シーシ
3	未指定	有形民俗	ウスメー、ハーメー
4	未指定	遺跡	ウドゥイナー
5	未指定	有形民俗	獅子岩
6	未指定	有形民俗	獅子岩
7	未指定	有形（建造物）	伊計島共同店
8	未指定	有形（建造物）	平家（たいらけ）
9	未指定	有形民俗	旧ムラヤー（ヒヌカン）
10	未指定	有形民俗	カミアシャギ
11	未指定	有形民俗	地頭火ヌ神
12	未指定	有形民俗	トンチマー
13	未指定	有形（建造物）	瑞泉園
14	未指定	遺跡	シヌグジョウ
15	未指定	有形（建造物）	あがり宮（カンヌチャー）
16	未指定	有形民俗	ウドゥイガミ（天神堂）
17	未指定	有形民俗	ヌンドウンチ
18	未指定	有形民俗	ウチガミ
19	未指定	有形民俗	ウーカー
20	未指定	遺跡	伊計グスク
21	未指定	遺跡	ウフグショウ
22	未指定	有形民俗	火ヌ神
23	未指定	有形民俗	イビ
24	未指定	文化的景観	畑地
25	未指定	遺跡	シンヤマ（神山）
26	未指定	有形民俗	ヌル火の神
27	未指定	名勝	伊計島の東海岸
28	未指定	名勝	伊計ビーチ
29	未指定	無形民俗	豊年祭
30	未指定	無形民俗	伊計ウスデーク
31	未指定	無形民俗	伊計エイサー
32	未指定	有形（建造物）	水タンク群
33	指定	名勝	犬名河（インナガー）

34	未指定	有形（建造物）	大泊ガー（ウフドマリガー）
----	-----	---------	---------------

※詳細リストは巻末に掲載

⑥取組

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～25	
5	伊計島の歴史文化遺産ガイドの育成	伊計島の歴史文化遺産のガイドを市民協働で育成を図る。	恒常 (R6～15)	行 住 民
9	木造建造物や石垣、屋敷林の保存技術に関する文化財保存活用支援団体の育成	木造建造物や石垣、屋敷林の保存・活用を図るための支援団体を育成する。	恒常 (R6～15)	行 民 住
11	湧き水や水タンクに関する文化財詳細調査	伊計島の湧き水と水タンクの現状と修復の課題等を調査し、成果をまとめ、まちづくりの資料を整える。	恒常 (R6～15)	行 住 民 学 研
16	伊計島の歴史文化遺産に関する文化財の指定・登録	伊計島の歴史文化遺産について必要に応じて市指定及び登録を行う。保存・活用のための体制を目指す。	恒常 (R6～25)	行
20	伊計島の赤瓦屋根、石垣、屋敷林等の修復・修理の支援	景観重点地区に指定となった伊計島の赤瓦屋根、石垣、屋敷林等の魅力を維持するため、設置工事等の助成制度を実施する。	前期 (R6～10)	行
33	伊計島の歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、伊計島の歴史文化遺産についての調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	恒常 (R6～25)	行 学 研
35	伊計島のフェノロジーカレンダー作成事業	伊計島の自然遺産や歴史文化遺産などを調査し、市民協働によるカレンダーを作成することで、故郷再発見と地域づくりを実施する。	恒常 (R6～25)	行 住 民 学 研

37	伊計島の歴史文化遺産活用事業	伊計島の歴史文化遺産の保存・活用に関する調査を行い、その保存や活用の対策を実施する。	前期 (R6～10)	行
46	伊計島を活用した「Go！Go！URUMA Lovers」映像配信事業	うるま市物産協会による伊計島の自然遺産や歴史文化遺産を含む市の魅力を配信するYouTube 番組は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行 住 民
49	伊計島の古民家リノベーション整備	歴史文化遺産の保存・活用の拠点の一つとして、古民家(木造家屋やアメリカ住宅等)のリノベーションの整備を検討する。	前期～後期 (R6～15)	行 所 住 民

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関



石垣とフクギの屋敷林



豊年祭



ハーリー



魔除けのシャコガイ

2. 宮城島文化財保存活用区域

①概要

宮城島は島しょ地域において一番の水量を誇る。古代から水に親しみ続けている住民の人情は訪れた人たちを魅了し続けている。琉球石灰岩の段丘と湧き水を拠点に形成された集落にも関わらず、水道水の普及によってその恩恵が薄れつつある。そこで、湧き水や伝統的な暮らしを活かすために立ち上がった女性たちは家庭菜園・郷土料理、民俗芸能、古民家等を活かし、子ども食堂や地域食堂、孤立した一人暮らしのお年寄りの健康と新たな学びの場を整えつつある。

②課題

- ・宮城島は豊富な湧き水が最も多い。しかし、上水道の整備の影響により湧き水の維持管理や活用が不十分である。
- ・市指定の宮城ウシデーク^{なぐしぐ}保存会は体制づくりを強化しつつあるが、上原ウシデーク保存会は経験者がいるにも関わらず、その継承の活動や発表が不足している。
- ・島しょ地域最大の農地をもつ宮城島である。しかし、県内最大の紅芋の産地やさとうきびの糖度が高い産地等としては知られていない。
- ・人口減少等の影響によって伝統的木造建造物の空き家が増え、管理体制づくりや支援制度が整えられていない。

③方針

- ・使われていない湧き水は農業や家庭菜園、防災用水等に活かすため、島内の湧き水の現状を調査し、その成果の指定・登録と維持管理の体制をつくる。また、歴史文化遺産の啓発活動、ガイド育成も図る。
- ・上原ウシデーク保存会は組織を強化するため、宮城ウシデーク保存会等との交流の場づくりや映像と動画の記録を通した継承の方法の確立等に取り組む。
- ・宮城島の紅芋やさとうきび等の農作物は企業等と連携し、特産物の再発見や新たな加工品の流通拡大を振興する。
- ・宮城島の伝統的木造建造物は行政の支援制度づくりを図り、古民家の食堂等のリノベーションに取り組む。



あごりば食堂（古民家）

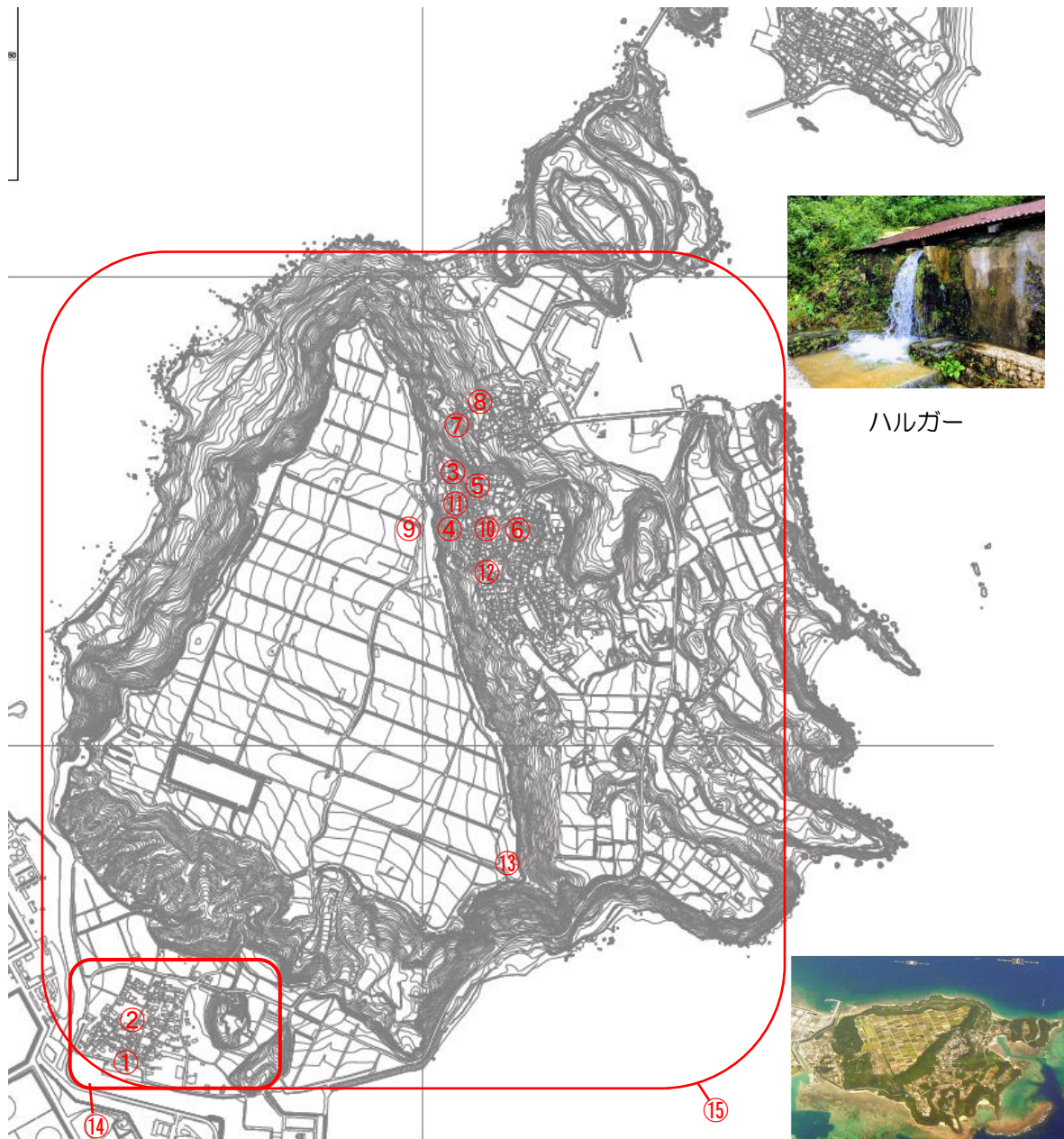


郷土料理



宮城ウシデーク保存会の奉

④区域図



⑤主な文化財一覧

No.	指定状況	種別	名称
1	未指定	有形（建造物）	海畑食堂ていーあんだ
2	未指定	有形民俗	桃原のウブガー
3	市指定	有形（建造物）	ヤンガー
4	未指定	有形（建造物）	ハルガー
5	未指定	有形（建造物）	あごーりば食堂
6	未指定	有形民俗	メーガー
7	未指定	有形民俗	クチャガー
8	未指定	有形民俗	タチチガー
9	未指定	遺跡	シヌグ堂遺跡
10	市指定	無形民俗	宮城ウシデーク保存会
11	未指定	無形民俗	上原ウスデーク
12	未指定	無形民俗	宮城エイサー
13	未指定	遺跡	高嶺遺跡
14	未指定	有形民俗	製塩業関連生産用具
15	未指定	有形民俗	さとうきび関連生産用具

※詳細リストは巻末に掲載

⑥取組

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～25	
5	宮城島の歴史文化遺産ガイドの育成	宮城島の歴史文化遺産のガイドを市民協働で育成を図る。	恒常 (R6～15)	行 住 民
11	湧き水やその暮らしに関する文化財詳細調査	宮城島の湧き水の現状と修復の課題等を調査し、成果をまとめ、まちづくりの資料を整える。	恒常 (R6～15)	行 住 民 学 研
16	宮城島の歴史文化遺産に関する文化財の指定・登録	宮城島の歴史文化遺産について必要に応じて市指定及び登録を行う。保存・活用のため	恒常 (R6～25)	行

		の体制を目指す。		
20	宮城島の古民家の修復・修理の支援	宮城島の赤瓦屋根、石垣、屋敷林等の魅力を維持するため、設置工事等の助成制度を実施する。	前期 (R6～10)	行
29	宮城島の民俗芸能映像記録作成事業	宮城島の祭礼や伝統行事について調査を行うと共に記録を作成する。そして、継承の体制づくりを推進する。	前期 (R6～10)	行 民
33	宮城島の歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、宮城島の歴史文化遺産についての調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	恒常 (R6～25)	行 学 研
35	宮城島のフェノロジーカレンダー作成事業	宮城島の自然遺産や歴史文化遺産などを調査し、市民協働によるカレンダーを作成することで、故郷再発見と地域づくりを実施する。	恒常 (R6～25)	行 住 民 学 研
37	宮城島の歴史文化遺産活用事業	宮城島の歴史文化遺産の保存・活用に関する調査を行い、その保存や活用の対策を実施する。	前期 (R6～10)	行
46	宮城島を活用した「Go！Go！URUMA Lovers」動画配信事業	うるま市物産協会による宮城島の自然遺産や歴史文化遺産を含む市の魅力を配信するYouTube 番組は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行 住 民
49	宮城島の古民家リノベーション整備	歴史文化遺産の保存・活用の拠点の一つとして、古民家(木造家屋等)のリノベーションの整備を検討する。	前期～後期 (R6～15)	行 所 住 民

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、
民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関

3. 平安座島文化財保存活用区域

①概要

平安座島は第二尚氏王統ゆかりの地である。琉球を統一し、国の繁栄に導くため海外貿易や操船技術は欠かせなかった。首里の琉球国王が海上交通との関わりで伝説とそのゆかりをもつ平安座島は、『おもろさうし』巻十五に尚円王の繁栄を願い、湧き水で勾玉を洗い清めたと歌われる。その国王より賜った祭事道具や当時の集落景観、庭園、トゥダチバカ（墓）をもとにそれらをつなぐウフバンタ（古道）の石畳が残されており、琉球王府時代の民俗芸能も現在に継承されている。

②課題

- ・平安座島ではこれまで第二尚氏王統に関連する歴史文化遺産の祭事道具や美術工芸品、庭園、食文化等が調べられていなく、その価値を明らかにする取り組みが不足している。これらの啓発普及活動とガイドは整えられていない。
- ・島で由緒ある古い墓のトゥダチバカがどのような歴史を残しているか明らかとなっていない。その墓は後世に残せるよう市の指定文化財にしたいと課題を持っている。
- ・ウフバンタの石畳は地域住民による維持管理や修景作業等をボランティア活動で取り組んでおり、市の指定文化財にしたいと要望がある。
- ・湧き水の石垣は破損や倒壊する恐れがあり、修理や周辺環境の整備が不十分である。
- ・民俗芸能の平安座ウスデーク保存会は体制づくりを強化しつつあるが、各組の人員確保や全節の継承が十分ではない。平安座エイサーも人員確保が課題となっている。
- ・伝統的木造建造物の所有者が島外に移住し、建造物の管理体制が不十分である。

③方針

- ・第二尚氏王統の歴史文化遺産に関する詳細調査は各専門家と地域住民等と取り組む。その結果、必要に応じて指定・登録を行う。その他、維持管理の体制づくり、歴史文化遺産の啓発活動、ガイド育成を行う。
- ・トゥダチバカは大学や市町村の考古学や歴史学、民俗学の専門家と連携し、調査する。その成果は管理運営団体と地域住民等へ情報を提供し、市の指定文化財に向けて取り組む。
- ・ウフバンタの石畳は管理運営団体づくりを推進する。また、当該未指定文化財は、調査に基づき価値を明らかにし、市の指定文化財にむけて取り組む。
- ・湧き水の石垣は管理運営団体等と連携し、修理や周辺環境の整備支援を整える。
- ・民俗芸能は映像と動画の記録を通した資料づくりと交流の場を推進し、人材育成を図る。
- ・平安座島の伝統的木造建造物は自治会と企業等と連携し、建造物の管理体制づくりを取り組み、地域住民の交流の場として推進する。



平安座島



平安座ポーポー



平安座ハッタラーのカ石

④ 区域図



ウフバンタの石畳



ヨサチガー

⑤主な文化財一覧

No.	指定状況	種別	名称
1	未指定	有形民俗	トゥダチバカ（墓）
2	市指定	有形民俗	ユサヂガー（与佐次河）
3	未指定	有形（建造物）	ウィースカー
4	未指定	遺跡	ウフバンタ（古道）
5	未指定	有形民俗	平安座ハッタラーの石
6	未指定	有形民俗	地頭代火ヌ神
7	未指定	有形民俗	神アサギ
8	未指定	有形民俗	神屋
9	未指定	有形（建造物）	池味殿内
10	未指定	名勝	庭園
11	未指定	有形（建造物）	仲田家
12	未指定	有形（美術）	仏具用具
13	未指定	有形（歴史）	扁額
14	未指定	無形民俗	平安座ウスデーク
15	未指定	無形民俗	平安座エイサー
16	未指定	有形（建造物）	イシガー（石河）
17	未指定	無形民俗	平安座ポーポー

※詳細リストは巻末に掲載

⑥取組

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～25	
6	平安座島の文化財ガイドの育成	平安座島の歴史文化遺産のガイドを市民協働で育成を図る。	恒常 (R6～15)	行住 民
11	第二尚氏王統の歴史文化遺産に関する文化財詳細調査	第二尚氏王統の歴史文化遺産に関連する建造物、美術工芸品、有形・無形の民俗文化財、名勝等の現状等を調査し、価値を明らかにして成果をまとめ、まちづくりの資料を整える。	恒常 (R6～15)	行住 民学 研

16	平安座島の歴史文化遺産に関する文化財の指定・登録	第二尚氏王統の歴史文化遺産に関連する建造物、美術工芸品、有形・無形の民俗文化財、名勝について必要に応じて市指定及び登録を行う。保存・活用のための体制を目指す。	恒常 (R6～25)	行
29	平安座島の民俗芸能映像記録作成事業	平安座島の祭礼や伝統行事について調査を行うと共に記録を作成する。そして、継承の体制づくりを推進する。	前期 (R6～10)	行 民
33	平安座島の歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、平安座島の歴史文化遺産についての調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	恒常 (R6～25)	行 学 研
35	平安座島のフェノロジーカレンダー作成事業	平安座島の自然遺産や歴史文化遺産などを調査し、市民協働によるカレンダーを作成することで、故郷再発見と地域づくりを実施する。	恒常 (R6～25)	行 住 民 学 研
37	平安座島の歴史文化遺産活用事業	平安座島の歴史文化遺産の保存・活用に関する調査を行い、その保存や活用の対策を実施する。	前期 (R6～10)	行
46	平安座島を活用した「Go！Go！URUMA Lovers」動画配信事業	うるま市物産協会による平安座島の自然遺産や歴史文化遺産を含む市の魅力を配信するYouTube 番組は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行 民
49	平安座島の古民家リノベーション整備	歴史文化遺産の保存・活用の拠点の一つとして、古民家(木造家屋やアメリカ住宅等)のリノベーションの整備を検討する。	前期～後期 (R6～15)	行 所 住 民

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関

4. 浜比嘉島文化財保存活用区域

①概要

浜比嘉島は、琉球・沖縄の創生神話に登場するアマミキョとシルミキョが創った島と信じられている。とくに神話に登場する人物が暮らした場所は、島内で最も神聖な場所とされ、インバウンドの観光客も数多く訪れている。また、日本離島振興協議会事務局長として、そして民俗学者の宮本常一が訪れた島でもある。彼は自然景観と集落景観の価値と港の整備による漁業振興を提言した。

②課題

- ・浜比嘉島には観光客の人気となっている市指定文化財のアマミチューの墓とシルミチュー（聖域な場所）がある。それらは琉球・沖縄の創生神話に登場するアマミキョとシルミキョに関わる場所であるが、その中間に点在する構成要素の文化財との結びつきが弱い。
- ・古民家の赤瓦屋根木造家屋、石垣、屋敷林は点々と残っているが、管理者の不在により解体されたり、倒壊したりと年々減りつつある。浜集落と比嘉集落の価値を保っている建造物であるが、その管理は不十分である。
- ・浜比嘉島は津堅島と並び、モズク養殖の生産地である。しかし、その文化的景観とモズク養殖の生産用具、食文化等の調査は不足している。
- ・浜エイサーや比嘉エイサー、浜ウスデーク、比嘉ウスデークは若い世代の参加が減っており、民俗芸能の継承の体制が十分でない。

③方針

- ・創生神話のアマミキョとシルミキョに関わる構成文化財と市指定文化財を結びつけ、観光で訪れる人たちの動線づくりとその景観や環境の整備、歴史文化遺産の啓発活動やガイド育成に取り組む。
- ・『勝連浜比嘉景観地区計画書』（2017年：平成29年3月、うるま市）に基づき、行政の補助等を活用して赤瓦屋根の木造建造物や屋敷林、石垣を整備し、古民家のリノベーションに取り組む。その取り組みをもとに歴史的風致維持向上計画や文化的景観保存活用計画は地域住民や行政、民間団体等と連携し、検討・策定を図る。
- ・モズク養殖では文化的景観とモズク養殖の生産用具、食文化等を調査する。それらは必要に応じて指定・登録を図る。また、調査成果は、関係部署や企業等と共有し、暮らしの振興を図る。
- ・伝統行事や民俗芸能は、児童・生徒や興味・関心がある若者世代を参加させ、持続可能な継承の体制や各地域との交流会に取り組む。



浜比嘉島



シルミチュー



シルミチュー内部

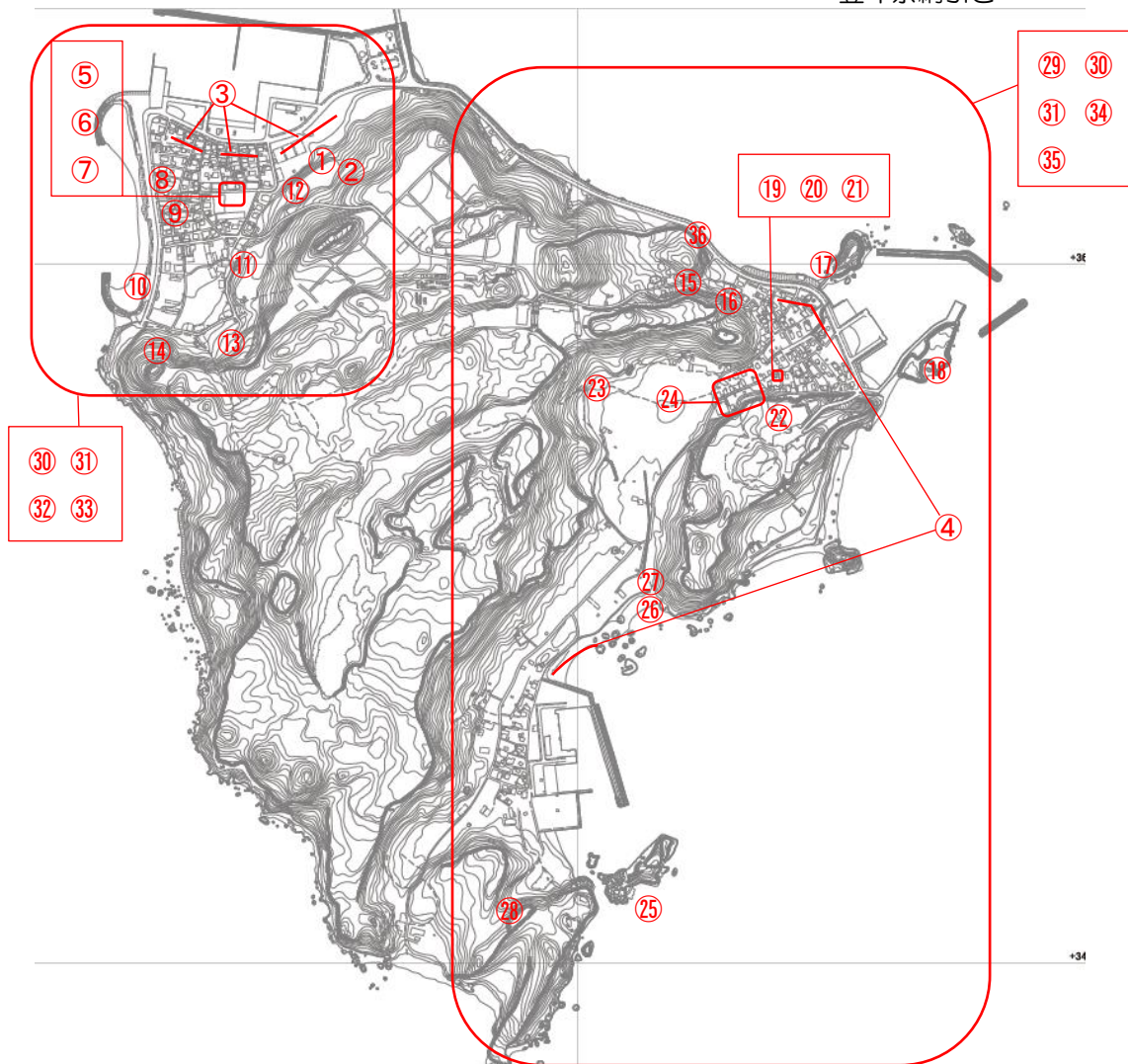


アマミチューの墓



豊年祭綱引き

④区域図



⑤主な文化財一覧

No.	指定状況	種別	名称
1	未指定	有形民俗	東の御嶽（シヌグ堂）
2	未指定	天然記念物	シヌグ堂のガジュマル
3	未指定	有形（建造物）	護岸跡（浜）
4	未指定	有形（建造物）	護岸跡（比嘉）
5	市指定	有形民俗	地頭代火の神（浜）
6	未指定	有形（建造物）	ノロ殿内（浜）
7	未指定	天然記念物	ノロ殿内のフクギ
8	未指定	有形民俗	親川家祭祀用具
9	未指定	有形民俗	リュウグウヤー
10	未指定	有形民俗	竜宮神（浜）
11	未指定	有形民俗	メーガー（ウブガー）
12	未指定	有形民俗	アガリガー（浜）
13	未指定	有形民俗	シーローガー
14	未指定	有形民俗	イリの御嶽
15	未指定	有形民俗	ノロ墓（比嘉）
16	未指定	有形（建造物）	ノロ殿内（比嘉）
17	市指定	遺跡	アマミチューの墓
18	未指定	有形民俗	リュウグウ（比嘉）
19	未指定	有形（建造物）	栄口家
20	未指定	名勝	栄口家の庭園
21	未指定	有形民俗	ブートゥイチャー
22	未指定	有形民俗	アガリガー（比嘉）
23	未指定	有形（建造物）	ハルガー（比嘉）
24	未指定	有形（建造物）	伝統建築家屋群
25	未指定	遺跡	クバ島
26	未指定	有形民俗	ソウジ御嶽
27	未指定	有形民俗	ソウジガー
28	市指定	有形民俗	シルミチュー
29	未指定	無形民俗	年頭拝み
30	未指定	有形民俗	モズク養殖の生産用具
31	未指定	文化的景観	モズク養殖の集落景観
32	未指定	無形民俗	浜ウスデー
33	未指定	無形民俗	浜エイサー

34	未指定	無形民俗	比嘉ウスデーク
35	未指定	無形民俗	比嘉パーランクー
36	未指定	有形民俗	ハマガー

※詳細リストは巻末に掲載

⑥取組

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～25	
5	浜比嘉島の歴史文化遺産ガイドの育成	浜比嘉島の歴史文化遺産のガイド、島ごとのガイドを市民協働で育成を図る。	恒常 (R6～15)	行 住 民
11	浜比嘉島の各種文化財詳細調査	浜比嘉島の建造物、美術工芸、有形・無形の民俗文化財、文化的景観等を調査し、価値の価値を明らかにして成果をまとめ、まちづくりの資料を整える。	恒常 (R6～15)	行 住 民 学 研
16	浜比嘉島の歴史文化遺産に関する文化財の指定・登録	浜比嘉島の歴史文化遺産に関連する建造物、美術工芸品、有形・無形の民俗文化財、名勝について必要に応じて市指定及び登録を行う。保存・活用のための体制を目指す。	恒常 (R6～25)	行
20	浜比嘉島の赤瓦屋根、石垣、屋敷林等の修復・修理の支援	景観地区に指定となった浜比嘉島の赤瓦屋根、石垣、屋敷林等の魅力を維持するため、設置工事等の助成制度を実施する。	前期 (R6～10)	行
29	浜比嘉島の民俗芸能映像記録作成事業	浜比嘉島の祭礼や伝統行事について調査を行うと共に記録を作成する。そして、継承の体制づくりを推進する。	前期 (R6～10)	行 民
33	浜比嘉島の歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、浜比嘉島の歴史文化遺産についての調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	恒常 (R6～25)	行 学 研
35	浜比嘉島のフェノロジーカレンダー作成事業	浜比嘉島の自然遺産や歴史文化遺産などを調査し、市民協働によるカレンダーを作成	恒常 (R6～25)	行 住

		することで、故郷再発見と地域づくりを実施する。		民 学 研
37	浜比嘉島の歴史文化遺産活用事業	浜比嘉島の歴史文化遺産の保存・活用に関する調査を行い、その保存や活用の対策を実施する。	前期 (R6～10)	行
46	浜比嘉島を活用した「Go！Go！URUMA Lovers」動画配信事業	うるま市物産協会による浜比嘉島の自然遺産や歴史文化遺産を含む市の魅力を配信する YouTube 番組は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行 住 民
49	浜比嘉島の古民家リノベーション整備	歴史文化遺産の保存・活用の拠点の一つとして、古民家(木造家屋)のリノベーションの整備を検討する。	前期～後期 (R6～15)	行 所 住 民

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関



年頭拝みで演舞を奉納するノロ



ノロ殿内で演舞を奉納する比嘉ウステーク

5. 津堅島文化財保存活用区域

①概要

津堅島は、日本離島振興協議会事務局長であり、民俗学者の宮本常一が訪れ、港の改良による漁獲高の向上と土地改良による農業振興を提言した。この島はモズク養殖の生産が日本一であり、その生業に携わる人々の光景は一举に垣間見る景観が特徴的である。農業では根菜類が盛んで人参の糖度は高く、うるま市特産品のひとつであり、近年はうるマルシェとの提携で麦の栽培も始まり、沖縄の食文化を支えている。

②課題

- ・島の9割を占める農地ではおもに人参が栽培され、島の景観のひとつを構成している。かつては地割制度を残す農地でもあった。しかし、人参の農家は年々減りつつあり、その栽培の方法や生産用具等は調査が不十分である。
- ・津堅島は浜比嘉島と並んでモズク養殖の生産地であるが、モズク生産者の生業と生産用具の記録は十分でない。津堅島の郷土料理はモズクや様々な魚介類、薬草を使っている。しかし、その食文化についても調査が不足している。また、その郷土料理を提供し、くつろげる食事処も整えられていない。
- ・人口減少等の影響により伝統行事や津堅島の唐踊りと津堅ウスデークは、若い世代の参加が減っており、伝統文化の継承やガイドの体制が十分でない。

③方針

- ・津堅島の人参等に関連する栽培の方法や生産用具については地域住民と専門家とともに調査し、その成果をもとに暮らしの向上とまちづくりを推進する。
- ・津堅島の食文化とそれに関わる生業と生産用具を調査し、必要に応じて指定・登録を図る。また、調査成果は関係部署や企業等と連携し、古民家を活用した食事処の整備、特産物の再発見や新たな加工品の流通拡大を振興する。
- ・島の産業に欠かせない伝統行事や民俗芸能は、児童・生徒や興味・関心がある若者世代、移住者を参加させ、持続可能な継承とガイドの体制づくりを図る。



唐踊り

④ 区域図



唐踊り



津堅島



モズク収穫



収穫用和船



モズク養殖用網



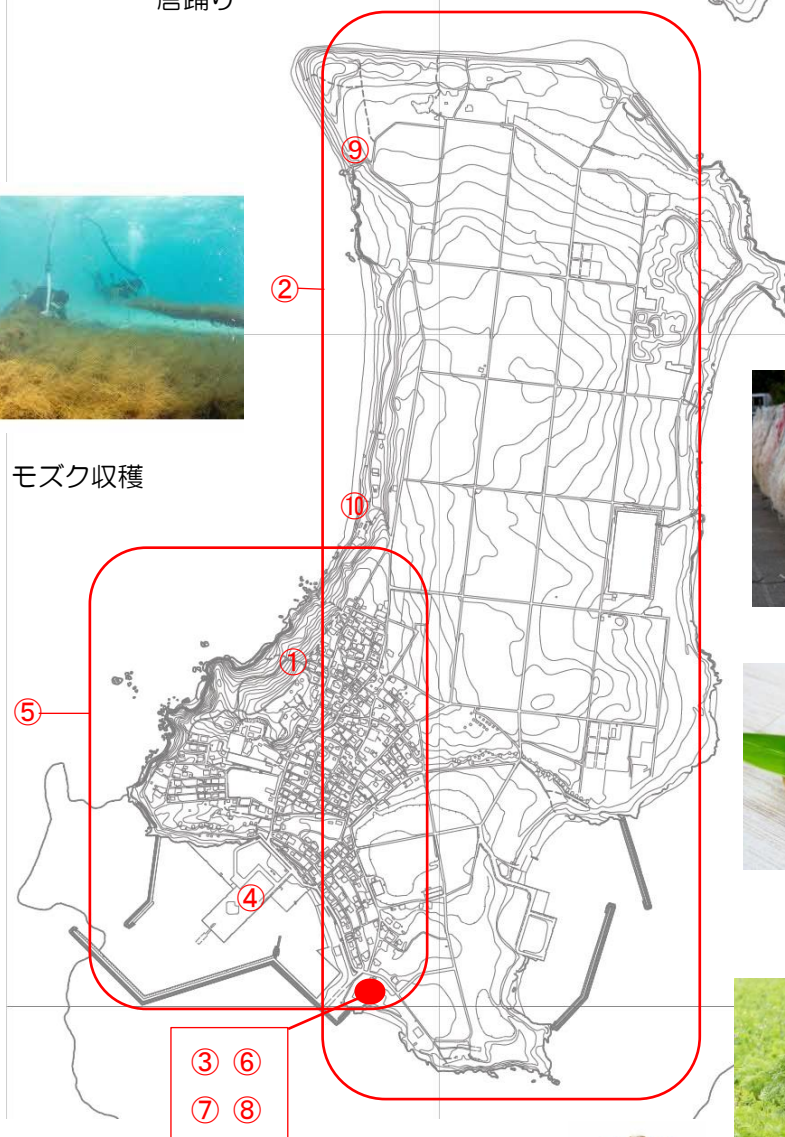
モズク



津堅島の人参



にんじんサイダー



⑤主な文化財一覧

No.	指定状況	種別	名称
1	未指定	有形（建造物）	ニンジン展望台
2	未指定	文化的景観	ニンジンの農業景観（地割制度）
3	未指定	有形（歴史）	地割制度関連資料
4	未指定	有形民俗	モズク養殖の生産用具
5	未指定	文化的景観	モズク養殖の集落景観
6	未指定	無形民俗	マータンコー
7	県選択	無形民俗	津堅島の唐踊り
8	未指定	無形民俗	津堅ウスデーク
9	未指定	遺跡	シヌグガマ
10	未指定	有形（建造物）	神谷荘

⑥取組

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～25	
5	津堅島の歴史文化遺産ガイドの育成	津堅島のガイド、島ごとのガイドを市民協働で育成する。	恒常 (R6～15)	行 住 民
11	津堅島の生業や食文化に関する文化財詳細調査	津堅島の生業や食文化を調査し、価値を明らかにして成果をまとめ、まちづくりの資料を整える。	恒常 (R6～15)	行 住 民 学 研
16	津堅島の歴史文化遺産に関する文化財の指定・登録	伊計島の歴史文化遺産に関連する建造物、美術工芸品、有形・無形の民俗文化財、文化的景観などについて必要に応じて市指定及び登録を行う。保存・活用のための体制を目指す。	恒常 (R6～25)	行
29	津堅島の民俗芸能映像記録作成事業	津堅島の祭礼や伝統行事について調査を行うと共に記録を作成する。	前期 (R6～10)	行 民
33	津堅島の歴史文化講座の実	研究者及び市文化財担当職員等による講	恒常	行

	施	演会及びシンポジウム等を開催し、津堅島の歴史文化遺産についての調査成果の発表及び理解の浸透を図る。	(R6～25)	学研
35	津堅島のフェノロジーカレンダー作成事業	津堅島の自然遺産や歴史文化遺産などを調査し、市民協働によるカレンダーを作成することで、故郷再発見と地域づくりを実施する。	恒常 (R6～25)	行住民学研
37	津堅島の歴史文化遺産活用事業	津堅島の歴史文化遺産の保存・活用に関する調査を行い、その保存や活用の対策を実施する。	前期 (R6～10)	行
44	津堅島音楽祭、うるま津堅島にんじんフェス	津堅島の沖縄民謡を活かした文化芸術と特産品の人参を活用したにんじんマルシェ、歴史文化遺産めぐりなどの地域づくりを実施する。	前期 (R6～10)	行住民
46	津堅島を活用した「Go！Go！URUMA Lovers」動画配信事業	うるま市物産協会による津堅島の自然遺産や歴史文化遺産を含む市の魅力を配信するYouTube 番組は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行住民
47	津堅島の古民家リノベーション整備	歴史文化遺産の保存・活用の拠点の一つとして、古民家(木造家屋やアメリカ住宅等)のリノベーションの整備を検討する。	前期～後期 (R6～15)	行所住民

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関



津堅のマチ棒



マータンコーの行事

6. 海中道路文化財保存活用区域

①概要

海中道路を中心とした干潟は、沖縄本島最大の面積を有する。その立地を活かした陸上の橋は、50年以上の歳月を迎えている。現在は観光客のウィンドサーフィンなどのマリンスポーツやアクティビティ、ドライブコースの名所となり、海や干潟の景観の観光拠点として知られつつある。

②課題

- ・沖縄本島最大の干潟の面積を有するにも関わらず、その自然環境と海域に生息する魚介類や海藻類、海草類の調査が進んでいない。
- ・海中道路に関する歴史文化遺産を観光資源として活かしていく必要がある。
- ・海中道路は、ロードパークや隣接する海の駅あやはし館とうるま市立海の文化資料館との連携や連動が不足している。
- ・うるま市立海の文化資料館と海の駅あやはし館は併設しているにも関わらず、周辺地域の歴史文化遺産や事業者と連携させた誘客や利用者の利便性が整えられていない。

③方針

- ・海中道路の干潟の自然環境と生物に関する調査によって、資源の価値を明らかにする。
- ・海中道路に関する歴史文化遺産を観光資源として捉え、魅力向上に取り組む。
- ・ロードパークと海の駅あやはし館、うるま市立海の文化資料館の管理運営担当課は、関係部署や事業者等と連携や定期的な協議会をもって海中道路のロケーションの価値づくりを活かしたプロモーションやスポーツイベント、企画展等の事業に取り組む。
- ・うるま市立海の文化資料館と海の駅あやはし館は文化観光の拠点づくりを図り、周辺地域の歴史文化遺産や事業者、その他博物館施設、観光施設等と連携させ、誘客や利用者の利便性の向上、ガイド案内等を推進する。

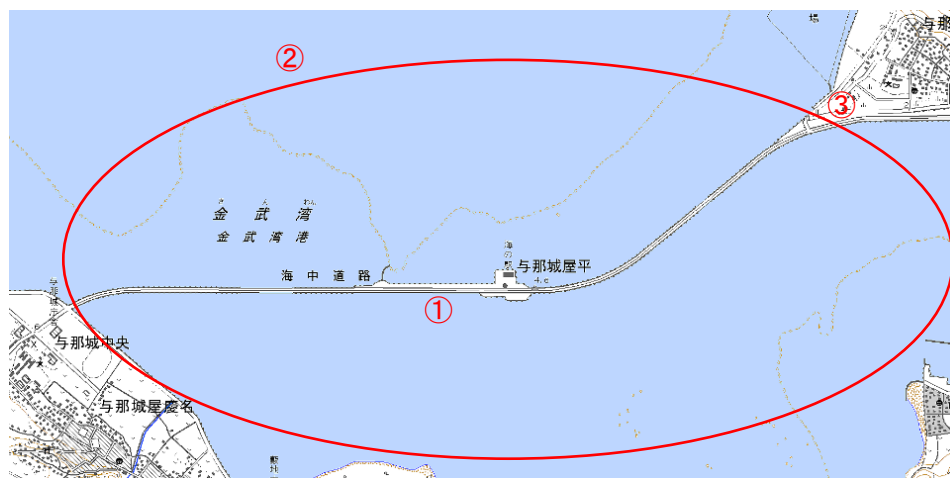


干潟と海藻



ンヌジ漁

④区域図



⑤主な文化財一覧

No.	指定状況	種別	名称
1	未指定	有形（建造物）	海中道路
2	未指定	名勝地	海中道路の干潟
3	未指定	有形（歴史）	世開之碑

⑥取組

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～25	
5	海中道路の歴史文化遺産ガイドの育成	海中道路の歴史文化遺産ガイド、島ごとのガイドを市民協働で育成する。	恒常 (R6～15)	行 住 民
11	干潟の天然記念物や海中道路の歴史文化遺産に関する文化財詳細調査	干潟の天然記念物や海中道路の歴史文化遺産を調査し、価値を明らかにして成果をまとめ、まちづくりの資料を整える。	恒常 (R6～15)	行 住 民
37	海中道路の歴史文化遺産活用事業	海中道路の歴史文化遺産の保存・活用に関する調査を行い、その保存や活用の対策を実施する。	前期 (R6～10)	行
38	あやはし海中ロードレース大会の開催	建設 50 年を経た海中道路の自然景観や島しょ地域の本質的価値を活かすため、市民マラソンを開催する。	恒常 (R6～25)	行 住 民
45	海中道路の魅力発信プロモ	自然遺産や歴史文化遺産の世界遺産の勝	前期	行

	ーション事業	連城跡、食、芸能などの魅力を活用し、「沖縄のすべてのコンテンツ、アクティビティが体感できるまち うるま」としてシティプロモーションを東京で開催する。	(R6～10)	住民
46	海中道路を活用した「Go！Go！URUMA Lovers」動画配信事業	うるま市物産協会による海中道路の自然遺産や歴史文化遺産を含む市の魅力を配信する YouTube 番組は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行 民
47	博物館機能強化事業	市内外の各地から海中道路を誘客する文化観光の拠点づくりができるよう博物館の機能強化に取り組む。	前期～後期 (R6～15)	行
48	海中道路の自然遺産・歴史文化遺産に関する企画展等の開催	海中道路の自然遺産や歴史文化遺産をテーマに企画展や体験講座等を実施し、関係部署や事業者等と連携し、学校教育と生涯学習、観光振興へ活かす。	前期～後期 (R6～15)	行 住 民 学 研

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関



海中道路



砂地の干潟



干潟で発見された UMA



干潟代表の甲殻類

7. 具志川照間文化財保存活用区域

①概要

近世琉球において蘭草の筵や畳はとても貴重で王府管理のもと各地で生産されていた。そのひとつにうるま市があり、現在は蘭草の栽培の特産地として知られている。本市の蘭草は茎が太く、丈夫で長持ちするとされ、県内外で重宝されている。その茎が太くなる要因は海風だと言われている。

具志川集落の照間と与那城照間集落は勝連半島の琉球石灰岩の分水嶺を起点に南北に分かれる平地で蘭草を栽培している。その地域は沖縄県一番の作付面積と収穫高の農地であり、その農業景観とそれにとりまく生産農家の歴史文化にふれることができる。

②課題

- ・具志川集落及び照間集落の蘭草農家の屋敷や筵作業部屋、農業の方法や筵と畳づくり、生産用具等の調査は不十分である。
- ・人口減少等の影響により蘭草農家の件数と赤瓦屋根の木造建造物（農家）の数が減り、後継者不足の課題を抱えている。
- ・具志川集落と照間集落は沖縄県内においても集落と農業で特徴な空間の要素を保っているが景観地区計画や文化的景観保存活用計画等の取り組みが進んでいない。

③方針

- ・蘭草に関する歴史文化遺産の詳細調査を各専門家と地域住民等の連携で取り組む。また、明らかにした蘭草の歴史文化遺産の価値は必要に応じて指定・登録に取り組む。
- ・関係部署や農協、うるま市商工会、うるま市観光物産協会、企業、農業高校等と連携し、蘭草農家の機械化による栽培の負担軽減や農業支援のボランティアの導入、蘭草の動画コンテンツづくり、古民家のリノベーションによる交流の場づくり等を図る。そして、蘭草は学校教育と生涯学習へ活用し、蘭草のまちづくりを担う人材育成を進める。
- ・景観地区計画や文化的景観保存活用計画等の策定にあたっては、関係部署と地域住民、企業等との意見交換の場を設け、課題の抽出や価値の創出等を行うこととする。



蘭草の刈り入れ



筵の編み機



藎草の田んぼ



藎草うえつけ



藎草収穫



畳用筵制作

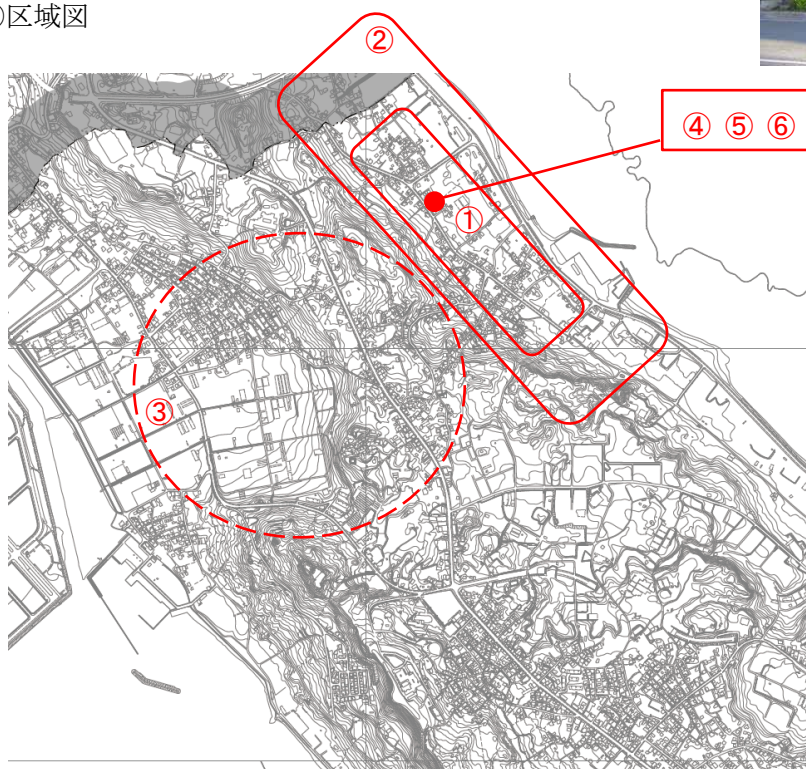


畳づくり



うるま市産畳

④区域図



地域の畳店

⑤主な文化財一覧

No.	指定状況	種別	名称
1	未指定	文化的景観	藺草生産小屋兼家屋の集落景観
2	未指定	文化的景観	藺草の農業景観
3	未指定	有形民俗	勝連筵関連資料
4	未指定	有形民俗	藺草生産用具
5	未指定	無形民俗	筵織民俗技術
6	未指定	無形民俗	畳職人民俗技術

⑥取組

取組 No.	取組の名称	取組の内容	実施期間	取組 主体
			恒常：R6～15 前期：R6～10 後期：R11～15 次期：R16～25	
5	藺草の歴史文化遺産ガイドの育成	藺草の歴史文化遺産のガイドを市民協働で育成を図る。	恒常 (R6～15)	行 住 民
11	藺草に関する文化財詳細調査	藺草の有形・無形の民俗文化財や文化的景観に関する調査を取り組み、その価値を明らかにして成果をまとめ、まちづくりの資料を整える。	恒常 (R6～15)	行 住 民
16	藺草の歴史文化遺産に関する文化財の指定・登録	藺草の歴史文化遺産に関連する建造物、美術工芸品、有形・無形の民俗文化財、文化的景観などについて必要に応じて市指定及び登録を行う。保存・活用のための体制を目指す。	恒常 (R6～25)	行
32	藺草の歴史文化に関する学校出前講座(総合的な学習)の開催	藺草の歴史文化遺産の価値を広く浸透させていくために所管課職員や資料館学芸員による教育普及活動を実施する。	恒常 (R6～25)	行 住 民 学 研
33	藺草の歴史文化遺産に関する歴史文化講座の実施	研究者及び市文化財担当職員等による講演会及びシンポジウム等を開催し、藺草の歴史文化遺産についての調査成果の発表	恒常 (R6～25)	行 学 研

		及び理解の浸透を図る。		
37	藺草の歴史文化遺産活用事業	藺草の歴史文化遺産の保存・活用に関する調査を行い、その保存や活用の対策を実施する。	前期 (R6～10)	行
46	藺草に関する「Go！Go！URUMA Lovers」動画配信事業	うるま市物産協会による藺草の自然遺産や歴史文化遺産を含む市の魅力を配信するYouTube 番組は、SNS で配信を実施する。	前期 (R6～10)	行 住 民
48	藺草の自然遺産・歴史文化遺産に関する企画展等の開催	藺草の自然遺産や歴史文化遺産をテーマに企画展や体験講座等を実施し、関係部署や事業者等と連携し、学校教育と生涯学習、農業や観光の振興へ活かす。	前期～後期 (R6～15)	行 住 民 学 研
49	藺草に関する古民家リノベーション整備	藺草の歴史文化遺産の保存・活用の拠点の一つとして、古民家(木造家屋等)のリノベーションの整備を図る。	前期～後期 (R6～15)	行 所 住 民

※取組主体 行：うるま市等、所：文化財所有者・管理者、住：住民・自治会等、
民：民間団体等、学：学校、研：研究者・大学・研究所等研究機関